

**Erina English  
Online Lesson  
Textbook**

Erina English Online Lesson Textbook	3
1. 英語学習の全体像と心構え	4
目的目標設定とその方法	4
Oxford English Level Test を受けてみる	5
英語の勉強を継続するためにやる3つのこと	5
多くの日本人が英語を話せない決定的な理由	5
絶対ダメ！日本人がやりがちな失敗する勉強法5選	6
2. 発音	7
日本人が英語の発音を苦手と感じる理由	7
アクセントとイントネーション	8
発音記号	8
英語の音の秘密5つ	13
発音の練習方法(リスニングにも効果あり)	16
一般動詞現在形の語尾「es」の発音	17
一般動詞過去形の語尾「ed」の発音	18
3. 文法	21
絶対に英文法を学んだ方がいい理由	21
【超重要】英文法の3つの基礎・概要(品詞・文型・時制)	21
誰でも簡単に文章を量産する方法	27
自己紹介を作ってみよう	28
世界一わかりやすい英文法の授業を読む	29
一億人の英文法を読む	29
be 動詞と一般動詞   疑問文、否定文の作り方	30
名詞	33
代名詞	34
形容詞	39
副詞	40
冠詞	40
5文型の理解(例: get)	40
There is(are)構文	41
一般動詞の自動詞と他動詞	41
SVC の形をもつ動詞	42
SVOO の形をもつ動詞	42
SVOC の形をもつ動詞	42
時制の理解	42
現在形 vs 現在進行形	45
過去形 vs 現在完了形	45
未来形: will vs be going to	46
助動詞	47
疑問詞8つ	52
関係代名詞の概要	53
関係代名詞(主格)	54
関係代名詞(目的格)	56
不定詞	58

to 不定詞を含む、よく使う英語の型	61
動名詞	61
不定詞、動名詞両方もつ動詞	63
不定詞(名詞的用法) vs 動名詞	64
過去分詞形の使い方 4 つ	65
動詞 Ving 形の使い方 4 つ	67
that の 5 つの使い方	70
接続詞	71
比較表現 (as~as、比較級、最上級)	73
as ~ as 表現	73
比較級・最上級 表現	73
仮定法	75
仮定法を含む慣用表現	77
前置詞 30 個	79
基礎動詞の学習	80
リーディングのコツ	80
ライティングのコツ	82
日記を書いてみる	83
Oxford English Level Test を受けてみる(再)	84
4. 単語	85
単語帳の選び方	85
必須単語 5000 語を身につける方法とコツ	85
単語学習時の重要な学習方法(受動語彙と能動語彙)	86
5. コミュニケーション	88
ネイティブとの会話で沈黙にならない方法	88
会話で相手に好印象をもってもらう方法	88
すぐ使える英会話フレーズ	88
人見知りでも、外国人の友達をつくる方法	88
独り言英会話 具体的な練習方法	89
オンライン英会話 具体的な練習方法	89
【補足・参考資料】	89
動詞活用表	89
和製英語～そのままでは通じないもの～	95
英語学習にドラマ視聴がおすすめな理由と活用法	97
「英語力が伸びない…」と落ち込んだときにする 5 つの行動	97
現状の英語力を簡単に確認できる方法 7 選	97
初心者が TOEIC600 点超えるためにやる 3 つのこと	97
英検 3 級ライティング対策   攻略とコツ	97
英検準 2 級ライティング対策   攻略とコツ	97
英検 2 級ライティング対策   攻略とコツ	97
英語独学歴 8 年が伝えたい！英語学習時に使える神アプリ 3 選【無料】	97
英語学習を円滑に進める便利サイト 10 選	98
さいごに	98

# Erina English Online Lesson Textbook

はじめに

はじめまして。Erina です。Erina English Online Lesson の Textbook をご覧くださり、誠にありがとうございます。この教材を通じて、皆様の英語力を上げるため、全ての経験と知識をこめました。

私は学生時代、大の英語嫌いでした。当時、中学 1 年生の一番初めのテストは簡単だと言われ、誰でも 100 点がとれると、先輩たちが言っていました。ですが、当時の英語の先生がいじわるな問題をだし、平均点が約 70 点。ただ、フレーズや単語を暗記する(多く暗記した人が勝ち!)、癖のあるアルファベットの書き方をしたら、例え答えがあっても、バツになる。そんなテストのあり方によって疑問をもちつつ、英語という教科が嫌いになっていきました。高校になってからも、その気持ちは変わりませんでした。

高校時代は、赤点を 2 回取り、補修を受けたこともあります。それからは、とにかく赤点をとらないようにはしようと思って勉強するも、高得点をとったことは一度もありません。大学受験時に受けるセンター試験(現在:共通テスト)では、100 点以下。テスト中に、「ああ、もう無理だ。」と思い、諦めたのを今でも覚えています。

大学は農学部に進学しました。英語は嫌いだけど、海外にはとても興味があったので、19 歳のとき、オーストラリアのケアンズに 1 ヶ月ほど留学をしました。当時の英語力は、悲惨でした。行く前に受けた TOEIC では、320 点。現地では、ホストマザーと意思疎通が全くできず、マザーが、伝えたいことがあれば、紙に書いて渡す、という言葉なしのコミュニケーションでした。同時期に、同じ家にいたスイス人の留学生には、あまりに私が英語を話せないことから、夕ご飯中に「Do you understand?(どうせ理解できてないだろうけど)」と言われ、あまりの悔しさに部屋で大号泣。負けず嫌いが爆発しました。この時に、「ただ知識があってはだめだ! コミュニケーションのための英語を学ぼう! 海外の人とスムーズに話せるようになりたい!」と本気で思いました。

帰国後は、大学の授業だけではなく、個人の英会話教室に行ったり、自分で本を買って勉強したりしました。卒業して、一旦就職してからも、英語の勉強だけはやめませんでした。その中で、間違った勉強法を長い間続け、英語力が伸びない…! と思ったことは数えきれず。英語は楽しく学ぶことはできませんが、楽に習得することはできません。しかし、その人の現在地や目標に合わせ、正しいやり方で学べば、誰でも英語を話せるようになります。そんな自分の経験と、出会った良書の知識を、私なりにかみ砕き、昔の私のように英語学習に悩んでいる人に、1 人でも届いてほしい…! という想いで、この Textbook を作成しました。

Erina

著者の詳しいプロフィール

Erina のプロフィール | TOEIC320 点だった私が、英語講師になるまで。

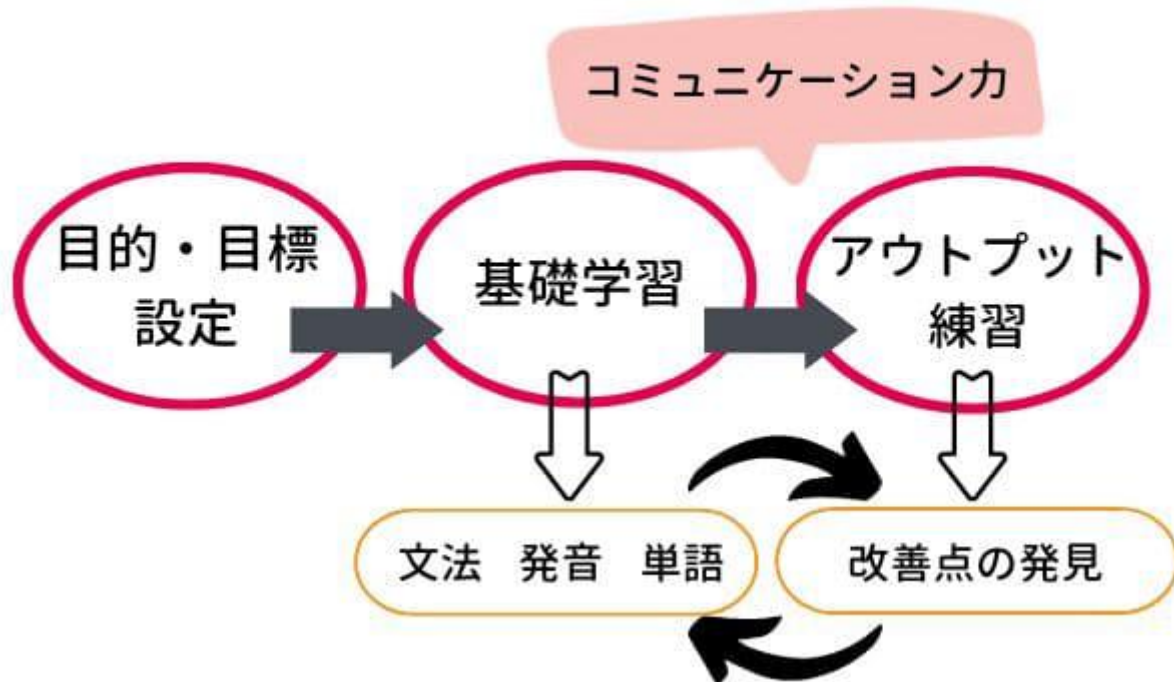
→ <https://erinaself.com/profile/>

【保存版】現役英語講師の私が、教える時に大切にしている 5 つのこと

→ <https://erinaself.com/as-a-teacher/>

## 1. 英語学習の全体像と心構え

### ~英語学習全体像~



【大公開】英語落ちこぼれが海外留学なしで、英語を話せるようになった方法  
→ <https://erinaself.com/study-roadmap/>  
今までの知識とノウハウをすべてつめこみました。

#### 目的目標設定とその方法

【保存版】英語学習を進めるための具体的な目的・目標の決め方  
→ <https://erinaself.com/set-goals/>

[TO DO]

- ・記事を熟読
- ・目標達成シートに書き込む。講師に提出(全部書かなくてもOK。)

## Oxford English Level Test を受けてみる

→ <https://www.oxfordonlineenglish.com/english-level-test/grammar>

テストを受ける理由

- **現状の自分の位置を確認**するため
- 数か月後、数年後の自分の伸びを確認できるため
- 理解できているところとできていないところが明確になる → 勉強項目が明確になり、無駄な時間をかけなくて済むため

[TO DO]

- ・テストを受講(リスニング、語彙、リーディング、文法)
- ・講師に結果を報告
- ・できたところ、できなかったところを記録

## 英語の勉強を継続するためにやる3つのこと

【継続できない方へ】英語の勉強を継続するためにやる3つのこと【シンプル】

→ <https://erinaself.com/eng-study-keizoku/>

- ① 目的を明確にする
- ② 環境を整える
- ③ 最低行動目標と最低行動目標を決める

【補足】

なぜ、英語学習は続かない？理由と解決策を大公開！【事前設定で全て決まる】

→ <https://erinaself.com/keep-at-english/>

絶対にブレない！英語学習を効率よく進める方法

→ <https://erinaself.com/study-koritsu/>

[TO DO]

- ・記事を熟読

## 多くの日本人が英語を話せない決定的な理由

「**使い方を知らない、使う練習をしていないから。**」

英語学習はやらなければいけないことが多く、特に学校教育では、ひたすら暗記をさせられます。もちろん、暗記は大切です。ただ、それらの「**使い方**」をあまり教わりません。

英語学習は、スポーツや楽器の習得と同じです。

例えば、サッカーをうまくなりたいとしたら、サッカーをやるために、まずルールを理解が必要です。その次にやるのは、実際にボールを使って、練習します。

英語習得において、多くの人はルール理解ばかりして、それを自分で使おうとしません。サッカーを習得したいのに、ずっとルールブックを読んでいる感じです。それでは、サッカーの知識はつきますが、サッカーを習得した！とは言えないですよ。

今やっている学習が

- **何のための学習か？**
- **何の力をつけるために行っているか？**

を自分の中で、必ず理由をつけて行うことが大切です。

「なんとなく、これがいいらしいから～」と続けることは、時間の無駄になる可能性があります。

[TO DO]

・上記の文章を熟読

## **絶対ダメ！日本人がやりがちな失敗する勉強法 5 選**

失敗！英語学習で絶対にやってはいけない勉強法 5 選【経験談】

→ <https://erinaself.com/study-failure/>

絶対にやってはいけない勉強法 5 選

- ① 目的・目標を決めず、ただ行動する
- ② 文法・発音など、基礎を学ばない
- ③ 聞き流すだけなど、「〇〇だけ」という勉強法を続ける
- ④ 英語の勉強法についての情報を収集してばかり
- ⑤ いろんな教材をやりまくる

[TO DO]

・上記の文章と記事を熟読

## 2. 発音

発音学習は、英語習得の要です。

結局、発音ができないと、どれだけ英文が作れても読めても、口から発しないと相手に伝えることはできません。

### 日本人が英語の発音を苦手と感じる理由

日本語と英語には違うところが、いくつかあります。  
何かを攻略しようと思ったら、相手のことを知るのは大切です。  
日本語と英語の特徴を、学んでいきましょう！

#### 【日本語の特徴】

- 抑揚、アクセントがない
- 子音→母音で音を作る
- 母音の音が強い

#### 【英語の特徴】

- 抑揚、アクセントがある
- 日本語にない音がある
- 母音をあまり強く発音しない

～日本語と英語の母音の話～

日本語は、母音が強い言語です。母音とは、「あ(a)・い(i)・う(u)・え(e)・お(o)」です。日本語の文字は、全て母音がついてきます。（‘ん’以外）  
例えば「スポーツジム」という単語、「ス(Su)ポ(Po)ーツ(Tsu)ジ(Ji)ム(Mu)」という風に、母音がありますし、聞こえます。

英語は、母音の音を日本語のように強く発音しません。

英語の「like」をカタカナで、書こうとすると「ライク」ですが、最後の「ク」の音は小さく、鋭く、発音します。「k」の音だけです。「ku」ではありません。

このように英単語では小さく、鋭く発音されているところがあります。なので、「聞きにくい、聞こえない」と感じます。

[TO DO]

・上記の文章を熟読



## アクセントとイントネーション

### アクセント

【英語発音】ネイティブの発音にグッと近づく方法 | アクセントをマスターする

→ <https://erinaself.com/pronunciation-accent/>

### イントネーション

【英語発音】ネイティブの発音にグッと近づく方法 | イントネーションをマスター

→ <https://erinaself.com/intonation/>

[TO DO]

・記事を熟読

## 発音記号

英語の発音記号をマスターしよう！【母音・二重母音・半母音・子音 38 個】

→ <https://erinaself.com/phonetic-symbol/>

母音(9 個)



発音記号	発音方法	単語例
æ	「ア」の口のままで「エ」という音 もしくは、「エ」の口のままで「ア」という音	・ apple [æpɪ] ・ staff [stæf]
ɑ	(指が 3 本くらい入るくらい)大きい口を開けて 「ア」という音 ※アメリカ発音	・ hot [hɑt] ・ shop [ʃɑp]
ɔ	(指が 3 本くらい入るくらい)大きい口を開けて 「オ」という音 ※イギリス発音	・ hot [hɒt] ・ shop [ʃɒp]
ə	力を抜いて「ア」という音 (「イ」や「エ」に聞こえることもあります。) ※アクセントにはならない音	・ beautiful [bjʊ:təfl] ・ about [əbaʊt]
ʌ	驚いたときの「ア(ツ)！」の音	・ but [bʌt] ・ country [kʌntri]
ɪ	「イ」→「エ」の間で口を止めて「イ」という音 少しこもった音になります。やや口を横に開いた状態。(「エ」と聞こえることもあります。)	・ English [ɪŋɡlɪʃ] ・ baby [beɪbi]

i:	口を横に大きく開いて「イーツ」の「イ」です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• meet [mi:t]</li> <li>• machine [məʃi:n]</li> </ul>
e	「エ」です。(日本語のエで OK。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• tell [tel]</li> <li>• wet [wet]</li> </ul>
u	「ウ」です。(日本語のウで OK。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• book [buk]</li> <li>• look [luk]</li> </ul>

### 二重母音(5 個)

aɪ	「a(ア)」と「i(イ・エ)」の組み合わせで「ア-イ」の音です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• quiet [kwaɪət]</li> <li>• lie [laɪ]</li> </ul>
aʊ	「a(ア)」と「u(ウ)」の組み合わせで「アウ」の音です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• wow [wau]</li> <li>• sound [saʊnd]</li> </ul>
oʊ	「o(オ)」と「u(ウ)」の組み合わせで「オウ」の音です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• slow [sləʊ]</li> <li>• dough [daʊ]</li> </ul>
ɔɪ	「ɔ(オ)」と「i(イ・エ)」の組み合わせで「オ-イ」の音です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• soy milk [sɔɪ milk]</li> <li>• join [dʒɔɪn]</li> </ul>
eɪ	「e(エ)」と「i(イ・エ)」の組み合わせで「エ-イ」の音です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• say [seɪ]</li> <li>• May [meɪ]</li> </ul>


### 半母音(3 個)

w	口を前に突き出して「ウ」という音 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• week [wi:k]</li> <li>• would [wʊd]</li> </ul>
r	小さく「ウ」と言ってから「ラ行」 「ウラ、ウリ、ウル、ウレ、ウロ」 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• red [red]</li> <li>• write [raɪt]</li> </ul>
j	唇を左右にギュッとひっぱる感じで「ヤ行」をいう音 「ヤ・イ・ユ・エ・ヨ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>• you [ju:]</li> <li>• yard [jɑ:(r)d]</li> </ul>

子音(21 個)

<p>ŋ</p>	<p>鼻にかけたような音で「ング」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ring [riŋ]</li> <li>• ink [iŋk]</li> </ul>
<p>m</p>	<p>唇をとじてから「マ行」を言う音 「ンマ、ンミ、ンム、ンメ、ンモ」</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• moon [mu:n]</li> <li>• important [impɔ:tənt]</li> </ul>
<p>n</p>	<p>「ナ行」または n が文末に来た時「ンヌ」という音</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• name [neim]</li> <li>• ten [ten]</li> </ul>
<p>θ</p>	<p>舌先を上歯にくっつけたまま音 もしくは音を出さない 「タ行」に近い音(×サ行)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• three [θri:]</li> <li>• mouth [mauθ]</li> </ul>
<p>ð</p>	<p>舌先を上歯にくっつけたまま「ダ行」に近い 音(×ザ行)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• this [ðis]</li> <li>• that [ðæt]</li> </ul>
<p>f</p>	<p>下唇を上歯にくっつけたまま「ファ行」</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• left [left]</li> <li>• free [fri:]</li> </ul>
<p>v</p>	<p>下唇を上歯にくっつけたまま「ヴ行」</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• five [faiv]</li> <li>• violin [vaiəlin]</li> </ul>

f	「シ」です。(日本語の「シ」で OK。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• fish [fiʃ]</li> <li>• she [ʃiː]</li> </ul>
ʒ	「ジ」です。(日本語の「ジ」で OK。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• massage [məˈsɑːʒ]</li> <li>• garage [gəˈrɑːʒ]</li> </ul>
s	「サ行」※シだけ音が少し異なります。 「サ、スイ、ス、セ、ソ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>• sick [sɪk]</li> <li>• see [siː]</li> </ul>
z	「ザ行」※ジだけ音が少し異なります。 「サ、ズイ、ズ、ゼ、ゾ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>• music [mjuːzɪk]</li> <li>• zoo [zuː]</li> </ul>
p	唇をとじてから「パ行」を言う音 「パッ、ピッ、プッ、ペッ、ポッ」 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• pen [pen]</li> <li>• temper [tempə(r)]</li> </ul>
b	唇をとじてから「バ行」を言う音 「バッ、ビッ、ブッ、ベッ、ボッ」 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• buy [bai]</li> <li>• book [buk]</li> </ul>
l	舌先を前歯にくっつけたまま「ラ行」をいう音 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• late [leɪt]</li> <li>• lucky [ˈlʌki]</li> </ul>
t	舌先を前歯にくっつけたまま「タ行」をいう音 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• tea [tiː]</li> <li>• put [put]</li> </ul>

d	舌先を前歯にくっつけたまま「ダ行」を言う音 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• decide [disaid]</li> <li>• bed [bed]</li> </ul>
k	「カ行」です。 喉で音を鳴らします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• kick [kik]</li> <li>• cake [keik]</li> </ul>
g	「ガ行」です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• egg [eg]</li> <li>• again [əgein]</li> </ul>
tʃ	「チ」です。(日本語の「チ」で OK。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• cheap [tʃi:p]</li> <li>• rich [ritʃ]</li> </ul>
dʒ	「ヂ」です。(日本語の「ヂ」で OK。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• large [la:(r)dʒ]</li> <li>• ginger [dʒin(d)ʒə(r)]</li> </ul>
h	お腹から出す「ハ行」です。 「ハッ、ヒッ、フッ、ヘッ、ホッ」 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• house [haus]</li> <li>• behind [bihaind]</li> </ul>

## 「ar」と「or」の発音

	発音記号		ポイント
ar	[ɑ:r]	アー	口を大きく開けて「アー」
or	[ɔ:r]	オー	口を大きく開けて「オー」

「ar」と「or」の前に「w」がつくと、発音が変わります。

	発音記号		ポイント
war	[ɔ:r]	オー	口を大きく開けて「オー」
wor	[ə:r]	アー	口の力を抜いて「アー」 (ウやエに聞こえることも)

## まとめ

<u>ar</u>	[ɑ:r]	「アー」
<u>or, war</u>	[ɔ:r]	「オー」
<u>wor</u>	[ə:r]	口の力を抜いて「アー」 (ウやエに聞こえることも)

## その他の単語例

単語	下線部の発音記号	発音
<u>park</u>	[ɑ:r]	パーク
<u>horse</u>	[ɔ:r]	ホース
<u>warm</u>	[ɔ:r]	ウォーム
<u>word</u>	[ə:r]	ワード

## [TO DO]

- ・上記と記事を熟読

## 英語の音の秘密 5つ

英語の音が聞き取れない…を解決します！【音の秘密を知らないだけ】

→ <https://erinaself.com/english-sound/>

- その1: 落ちる
- その2: くつつく
- その3: 短くなる
- その4: 変わる
- その5: 弱くなる

### 1. 落ちる

語尾が子音「t, p, d, k, g」で終わり、次の単語が子音から始まる時、「t, p, d, k, g」が落ちます(聞こえない、発音しない)。

### [t]の音が落ちる例文

- Don't worry.
- What happened?

- That **t** was nice.
- Please let **t** me check.

[p]の音が落ちる例文

- How long **g** can I keep **p** the book?
- You should **d** look up these words.

[d]の音が落ちる例文

- Good **d** morning.
- It would **d** be expensive.
- I like dogs and **d** cats.

[k]の音が落ちる例文

- I think **k** so.
- You should **d** book **k** the room.
- Please remember to give **it** back **k** to me.

[g]の音が落ちる例文

- We're having **g** dinner.
- I'm playing **g** tennis every week.
- Is there something **g** you can't eat?

「he, him, his, her」の「h」の音が脱落することがあります。

[h]の音が落ちる例文

- Did you meet **h**im?
- I'll call **h**er.

## 2. くっつく

語尾が子音で終わり、次の単語が母音から始まる時、音がくっつきます。

例文

- I can talk **k** to my friend about **u**it.
- **Is** **it** OK to park **o**n this street?
- I get **u** at 7 o'clock.
- We should get **a** taxi here.
- Sorry, but **I**'m busy.

語尾が子音で終わり、次の単語が「y」のとき、音がくっつきます。

例文

- Thank **y**ou.
- Did **y**ou eat lunch?
- Could **y**ou tell me where the station is?

- Would you like a cup of coffee?
- What are you doing?
- I was worried about you.
- I told you I was having problems with my phone.

冠詞「an」と後ろの名詞の音がかっつきます。

例文

- I want to open an account.
- The train stopped d at the station because of an accident.

### 3. 短くなる

2つの単語がかっついて、音が短くなります。

I am	→	I'm
I will	→	I'll
I would	→	I'd
I have	→	I've
you are	→	you're
it is	→	it's
there is	→	there's
do not	→	don't
did not	→	didn't
have not	→	haven't
can not	→	can't
what is	→	what's
how is	→	how's

など

### 4. 変わる

2つの単語がかっついて、音そのものが変化します。

(例)

want to	→	wanna
going to	→	gonna
got to	→	gotta
kind of	→	kinda

「t」の発音が「d」に変化することがあります。(主にアメリカ英語)

get up	→	ge[d]p
get it	→	ge[d]t
about it	→	abu[d]t
better	→	be[d]er



## 5. 弱くなる

単語の音が弱くなります。

※弱くなる音のことを、弱形と言います。主に、前置詞、代名詞、冠詞、助動詞がそうです。

(例)

		弱い形
or	オア	オ / ア
and	アンド	アン
you	ユー	ユ / ヤ
he	ヒー	ヒ / イ
who	フー	フ
what	ワト	ワ
to	トウ	ト / タ
of	オブ	ア / ブ
been	ビーン	ビン

辞書を見ると、発音記号のところに《弱》と書かれています。それが弱形です。

文章中でどんな風に音が聞こえるのか、実際にネイティブが発音している音を聞いてみてください。音が落ちていたり、繋がっていたり、弱い音で聞こえたり…、法則を知りながら音を聞くと、びっくりするほど、前より音がクリアに聞こえてきます。

[TO DO]

・上記と記事を熟読

## 発音の練習方法（リスニングにも効果あり）

シンプルで効率的な英語音読練習方法【音読で4技能を同時に伸ばす】

→ <https://erinaself.com/read-aloud/>

[TO DO]

・記事を熟読

## 一般動詞現在形の語尾「es」の発音

【規則性あり】英語一般動詞の現在形 語尾「es」の発音 3つを完全マスター

→ <https://erinaself.com/verb-es/>

一般動詞の3人称単数形は、「s」もしくは「es」をつけますが、発音は3タイプあります。

①[z]    ②[s]    ③[ɪz]

【重要】有声音と無声音について

### ・有声音

声がある音。声帯が振動している音です。

ちなみに日本語は全て有声音です。私たちが普段発している音は、全て有声音です。(なので、英語には日本語に無い音がたくさんあるんですね…。)

### ・無声音

声が無い音。声帯が振動しておらず、息だけの音です。

ヒソヒソ声（ささやか）がそれに近いです。例えば、[k][t][s][f][h][p][ʃ][tʃ]は無声音です。

### ①動詞の最後が、有声音で終わるとき、[z]の発音

plays	プレイズ	cleans	クリーンズ
listens	リスンズ	goes	ゴウズ
reads	ウリーズ	stands	スタンズ

### ②動詞の最後が、無声音で終わるとき、[s]と[t]の音になる動詞

「s」の前の文字が「k」、発音が[k]であるもの			
works	ワークス	asks	アスクス
takes	テイクス	speaks	スピークス
「s」の前の文字が「p」、発音が[p]であるもの			
helps	ヘルプス	stops	ストップス
keeps	キープス		

「s」の前の文字が「t」、発音が[t]であるもの			
vis <u>it</u> s	ヴ <u>イ</u> ジツ	s <u>it</u> s	シツ

※「s」の前が「k」、「p」、「t」で終わる単語は発音が[s]の音になります。

※「s」の前が「t」で終わる単語は発音が[t]の音になります。

### ③[iz]の音になる動詞

「es」の前の文字が「ch」、発音が[tʃ]であるもの			
teach <u>e</u> s	テ <u>イ</u> チ <u>イ</u> ズ	watch <u>e</u> s	ウ <u>オ</u> チ <u>イ</u> ズ
touch <u>e</u> s	タ <u>チ</u> イ <u>ズ</u>		
「es」の前の文字が「s」、発音が[z]であるもの			
close <u>s</u>	ク <u>ロ</u> ウジ <u>イ</u> ズ		
「es」の前の文字が「sh」、発音が[ʃ]であるもの			
wash <u>e</u> s	ウ <u>オ</u> シ <u>イ</u> ズ	brush <u>e</u> s	ブ <u>ラ</u> シ <u>イ</u> ズ
「es」の前の文字が「c」、発音が[s]であるもの			
pract <u>i</u> ce <u>s</u>	プ <u>ラ</u> クテ <u>イ</u> シ <u>イ</u> ズ	danc <u>e</u> s	ダ <u>ン</u> シ <u>イ</u> ズ
「es」の前の文字が「g」、発音が[dʒ]であるもの			
chang <u>e</u> s	チ <u>ェ</u> ンジ <u>イ</u> ズ		

※「es」の前が「ch」、「s」、「sh」、「c」、「g」で終わる単語は発音が[id]の音になります。

[TO DO]

・記事を熟読

## 一般動詞過去形の語尾「ed」の発音

【規則性あり】英語一般動詞の現在形 語尾「ed」の発音 3つを完全マスター

→ <https://erinaself.com/verb-ed/>

一般動詞を過去形にする時、「ed」をつけますが、発音は3タイプあります。

- ①[d]    ②[t]    ③[id]

① 基本は有声音[d]であることが多いです。

【重要】有声音と無声音について

・有声音

声がある音。声帯が振動している音です。

ちなみに日本語は全て有声音です。私たちが普段発している音は、全て有声音です。(なので、英語には日本語に無い音がたくさんあるんですね…。)

・無声音

声が無い音。声帯が振動しておらず、息だけの音です。

ヒソヒソ声ヒソヒソがそれに近いです。例えば、[k][t][s][ʃ][h][p][tʃ]は無声音です。

②[t]の音になる動詞

「ed」の前の文字が「k」、発音が[k]であるもの			
work <u>ed</u>	ワ <u>ク</u> ト	ask <u>ed</u>	ア <u>ス</u> クト
talk <u>ed</u>	ト <u>ク</u> ト	look <u>ed</u>	ル <u>ク</u> ト
lik <u>ed</u>	ライ <u>ク</u> ト	cook <u>ed</u>	ク <u>ク</u> ト
walk <u>ed</u>	ウ <u>ク</u> ト	check <u>ed</u>	チ <u>ク</u> ト
「ed」の前の文字が「p」、発音が[p]であるもの			
dropp <u>ed</u>	ドロ <u>プ</u> ト	stop <u>ped</u>	スト <u>プ</u> ト
help <u>ed</u>	ヘル <u>プ</u> ト	jump <u>ed</u>	ジャン <u>プ</u> ト
「ed」の前の文字が「sh」、発音が[ʃ]であるもの			
push <u>ed</u>	プ <u>シ</u> ト	finish <u>ed</u>	フィニ <u>シ</u> ト
wash <u>ed</u>	ウ <u>シ</u> ト		
「ed」の前の文字が「ch」、発音が[tʃ]であるもの			
watch <u>ed</u>	ウ <u>チ</u> ト	touch <u>ed</u>	タ <u>チ</u> ト
「ed」の前の文字が「c(e)」、発音が[s]であるもの			
danc <u>ed</u>	ダン <u>ス</u> ト		

※「ed」の前が「k」、「p」、「sh」、「ch」、「c(e)」で終わる単語は発音が[t]の音になります。

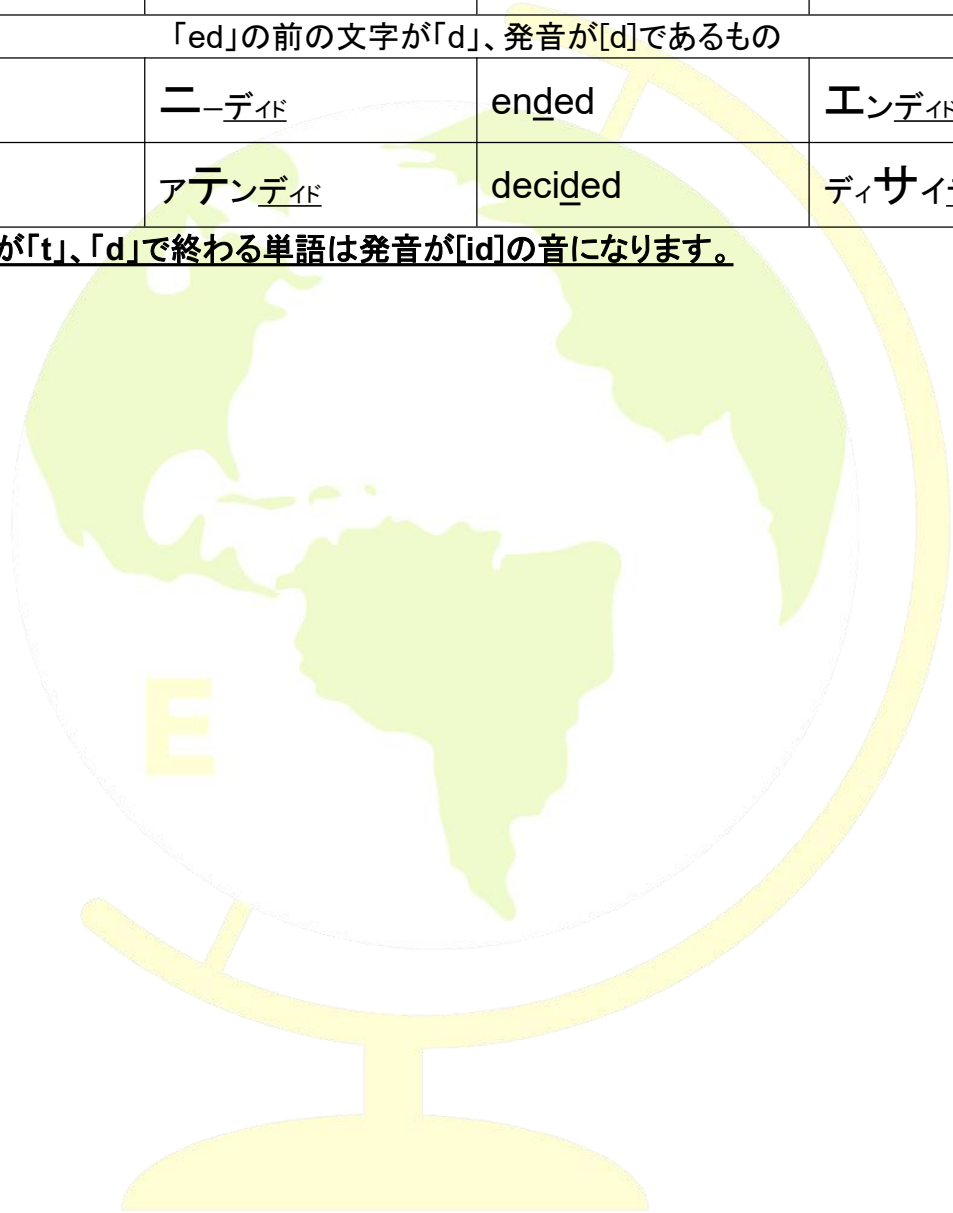
③[id]の音になる動詞

「ed」の前の文字が「t」、発音が[t]であるもの			
start <u>ed</u>	スタ- <u>テ</u> イド	visit <u>ed</u>	ヴ <u>イ</u> ジ <u>テ</u> イド
wait <u>ed</u>	ウ <u>エ</u> イ <u>テ</u> イド	want <u>ed</u>	ウ <u>ォ</u> ン <u>テ</u> イド
invit <u>ed</u>	イン <u>ヴ</u> アイ <u>テ</u> イド		
「ed」の前の文字が「d」、発音が[d]であるもの			
need <u>ed</u>	ニ- <u>デ</u> イド	end <u>ed</u>	エン <u>デ</u> イド
attend <u>ed</u>	ア <u>テ</u> ン <u>デ</u> イド	decid <u>ed</u>	ディ <u>サイ</u> デ <u>イ</u> ド

※「ed」の前が「t」、「d」で終わる単語は発音が[id]の音になります。

[TO DO]

・記事を熟読



### 3. 文法

英文法は英語を作るための、ガイドブックです。身につけてしまえば、最強の武器になります！

#### 絶対に英文法を学んだ方がいい理由

英文法は勉強する必要ない？ | 苦手だった私が伝えたい英文法を学ぶ意味

→ <https://erinaself.com/why-study-grammar/>

英文法を学ぶべき3つの理由

- ① 文章の間違いに気づける
- ② 学ぶ項目に上限がある
- ③ 英語習得のスピードが上がる

[TO DO]

・記事を熟読

#### 【超重要】英文法の3つの基礎・概要（品詞・文型・時制）

#### 品詞

【超簡単英文法】品詞 10 種類を一気に理解する！

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-hinshi/>

品詞		
1. 名詞	もの、ことの名前	island, temple, water, book
2. 代名詞	名詞の代わりになる言葉	I, you, we, they, this, that, it, those
3. 動詞	主語の動きを表す言葉	be, play, go, walk, study, read
4. 形容詞	名詞を説明する言葉	cute, block, big, expensive, smart
5. 副詞	名詞以外(動詞、形容詞)を説明する言葉	here, sometimes, tomorrow, well
6. 助動詞	動詞に意味を追加する言葉	can, could, will, would, must, shall

7. 冠詞	<u>名詞の前に置いて、その名詞が1つなのか、特定の物なのかを表す言葉</u>	a(an), the
8. 前置詞	<u>名詞の前に置いて、場所や目的、日付などの関係性を表す言葉</u>	in, at, on, from, over, behind, out
9. 接続詞	文と文、単語と単語をつなぐ言葉	and, but, if, when, while, because
10. 間投詞	思わず口から出てしまう感情を表す言葉	oh, wow, well, ah, Well done.

## 1. 名詞

「もの(こと)の名前」

草食動物で、白と黒の縦線が交互に入った動物は？と聞かれたら、「シマウマ！」と答えますよね。ものやことには、全て名前があります。

【例】 teacher, dog, river, Bob, dream, success, plan

## 2. 代名詞

「名詞の代わりになる言葉」

会話や文章の中で、いちいち名詞を言うのは回りくどい、わかりにくい時に使います。

【例】 I, you, we, they, this, that, she, it, those

## 3. 動詞

「動きを表す言葉」

【例】 go, drink, like, swim, give, be

## 4. 形容詞

「名詞がどんな状態、状況かを説明する言葉」

【例】 beautiful, big, expensive, sick, blue, round, tall, early

## 5. 副詞

「名詞以外(動詞、形容詞、文全体)を説明する言葉」

【例】 hard, so, beautifully, fluently, suddenly, early, today, here, home

## 6. 助動詞

「動詞に意味を追加する言葉」

【例】 can, could, will, would, must, should, might, may, shall

## 7. 冠詞

「名詞の前に置いて、その名詞が1つなのか、特定の物なのかを表す言葉」

【例】 a, an, the

## 8. 前置詞

「名詞の前に置いて、位置や目的、日付などの関係性を表す言葉」

【例】 in, at, on, from, over, behind, out, by, along, under, for, off

## 9. 接続詞

「文と文、単語と単語をつなぐ言葉」

【例】 and, but, if, when, while, because, until, though

## 10. 間投詞

「思わず口から出てしまう感情を表す言葉」

【例】 oh, wow, well, ah, Well done.

※その他の品詞

## 11. 疑問詞

【例】 what, where, when, why, who, whose, which, how



## 文型

【英文法 5 文型】なぜ理解が必要なの？ | 一生ものの英語力が身につく

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-bunkei/>

### 【記号の解説】

#### 「S」(主語=Subject)

文章の主人公になる人、物のことを「主語」と言います。  
主語には必ず、**名詞**がきます。

#### 「V」(動詞=Verb)

動きを表す言葉です。主語が「**何を**するのか」を表します。  
動詞は Be 動詞と一般動詞があります。

#### 「C」(補語=Complement)

主語もしくは目的語が、「**何なのか**」「**どんな状態・様子なのか**」を表すものです。  
わかりやすくまとめると、「**主語 = 補語**」もしくは「**目的語 = 補語**」の関係になります。  
第 2 文型と第 5 文型に補語(C)が出てきます。  
補語には、**名詞**か**形容詞**が入ります。

#### 「O」(目的語=Object)

動詞の対象となる人や物、のことを言います。  
「私食べた！」と言われたら、「えっ何を？」と気になりますよね。その答えが、目的語です。  
目的語には、**名詞**が入ります。

### 【第 1 文型 SV】

日本語訳:「S が、V する」

例:

I walked. 私は歩いた。

The game started. そのゲームは始まった。

The earth moves. 地球は動いています。

※ここで使われる動詞は目的語を必要としません。こういった動詞を「**自動詞**」と呼びます。

### 【第 2 文型 SVC】

日本語訳:「S は、C です(V)」

例:

I am Japanese. 私は日本人です。

He looks fine. 彼は元気に見えます。

The soup tastes good. そのスープは良い味がします。

補語のところで説明したように「I=Japanese」「He=fine」「The soup=good」

主語と補語はイコール関係です。

### 【第3文型 SVO】

日本語訳:「S は、O を V する」

例:

I put my bag. 私はカバンを置いた。

She likes cats. 彼女は猫が好きです。

私は置いた ⇒ 「何を？」 ⇒ かばんを(O)

彼女は好き ⇒ 「何が？」 ⇒ 猫が(O)

動詞の対象となる言葉(目的語 O)が、動詞の後ろにきます。

※目的語が必要な動詞のことを「他動詞」と呼びます。

### 【第4文型 SVOO】

日本語訳:「S は、O(人)に O(物)を、V する」

例:

I gave my mother some flowers. 私は母に花をあげました。

She lent me her notebook. 彼女は私にノートを貸した。

私はあげた ⇒ 「誰に？」 ⇒ 私の母に ⇒ 「何を」 ⇒ 花を

彼女は貸した ⇒ 「誰に？」 ⇒ 私に ⇒ 「何を？」 ⇒ 彼女のノートを

第4文型の場合、「誰に？」⇒「何を？」の順番で並べていくことがポイントです！

※文法書では1つ目の目的語を間接目的語、2つ目の目的語を直接目的語と呼びます。

### 【第5文型 SVOC】

日本語訳:「S は、O が C だと、V する」

例:

The news made me happy. そのニュースは私を幸せにした。

I keep my room clean. 私は部屋をキレイにしておく。

My friends call me Lee. 私の友人たちは私をリーと呼びます。

補語のところで説明しましたが、「me = happy」「my room = clean」「me = Lee」のように、目的語とイコール関係になります。

どんなに長い文章があったとしても、基本はこの5文型のどれかに当てはまります！  
 なので、この5つをおさえておくと、どんなに長い文章が来ても読むことができます。  
 まずは短い文章からでいいので、今から読む文章は「何文型なんだろう？」と意識することから  
 始めてみると、英語の構造がだんだんとわかってきます！

例文：第5文型 [SVOC]

Everyone in my family found the new microwave I bought high-spec.

(S) (V) (O) (C)

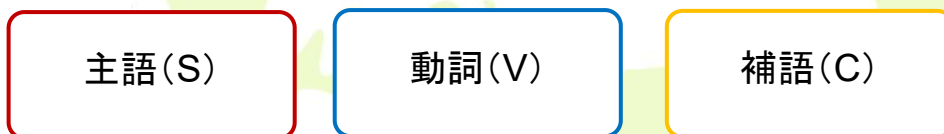
家族のみんなは、私が買った電子レンジが高性能だということに気づいた。

※「find O C」で「OがCだと気づく(わかる)」です。

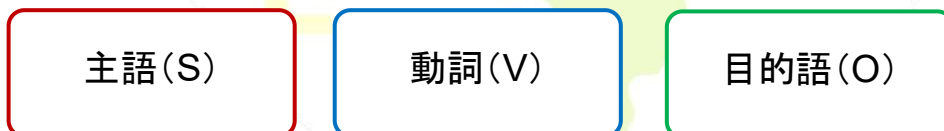
第1文型 SV:「SがVする。」



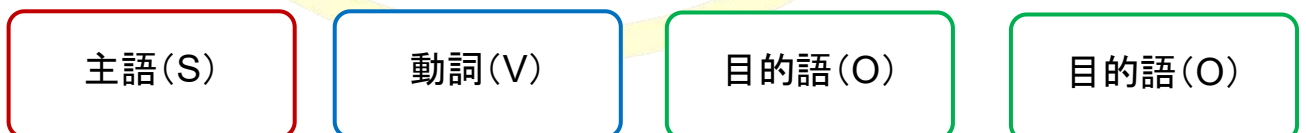
第2文型 SVC:「SはCである。」(S=C)



第3文型 SVO:「SはOをVする。」



第4文型 SVOO:「SはO(人)にO(物)をVする[与える]。」



第5文型 SVOC:「SによってO=Cにする。」

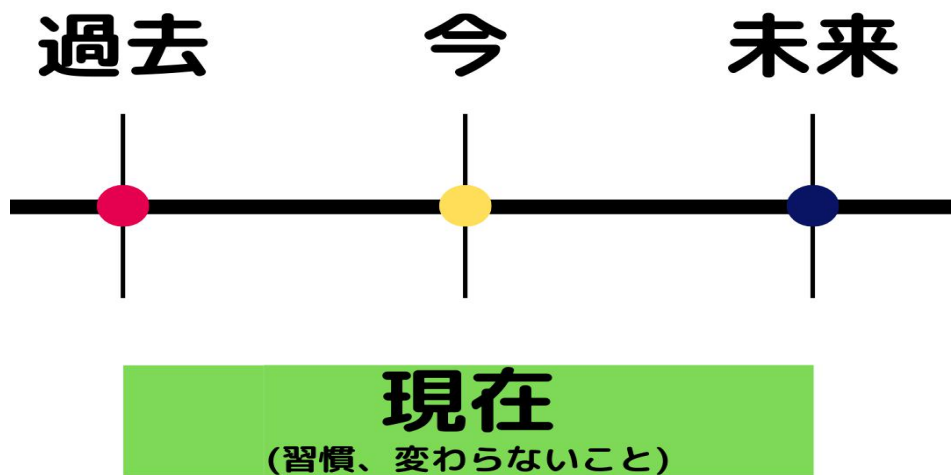


文の要素	主語(S)	述語(動詞)(V)	目的語(O)	補語(C)	その他
品詞	名詞	動詞	名詞	名詞／形容詞	形容詞／副詞

## 時制

【簡単！イメージ図あり】時制(過去形 現在形 未来形)を完全攻略 | 英文法  
→ <https://erinaself.com/kisoeigo-tense/>

イメージ図



赤丸 ⇒ 「過去形」または「過去進行形」を使う  
黄丸 ⇒ 「現在進行形」を使う  
青丸 ⇒ 「未来形」または「未来進行形」を使う  
緑色のエリア ⇒ 「現在形」を使う

[TO DO]

・記事を熟読

### 誰でも簡単に文章を量産する方法

一つの例文を用意し、単語を置き換える。

**【注意】** 置き換える語の品詞は、絶対に変えない。

例文:

これは私が今まで読んだ中で、最も面白い本です。

This is the most interesting book I've ever read.

book → movie  
read → seen      に置き換えます。

これは私が見た中で、最も面白い映画です。

This is the most interesting movie I've ever seen.

このように、単語を品詞を変えずに置き換えるだけで、文章を量産することができます。

置き換えて作った他の例文

それは、私が今まで聞いた中で、最も悲しい出来事(話)です。

It's the saddest thing I've ever heard.

これは私が今まで食べた中で、最も美味しいケーキです。

This is the most delicious cake I've ever eaten.

これは私が今まで行った中で、最高のパーティです。

This is the best party I've ever been to.

あなたにこのことを伝えるのは、私がやらなきゃいけないことの中で、一番辛いです。

Telling you this is the hardest thing I've ever had to do.

このように、一つの英文の意味や、構造を理解すると、似たような文章を作りたいときに、単語を置き換えるだけですみます。

[TO DO]

- ・上記を熟読
- ・自分で上の構文を使い、単語を置き換えて、文章を5つ以上作る ⇒ 講師に提出

自己紹介を作ってみよう

## 自己紹介の作り方

- ① 自己紹介シートに記入する(講師に、自己紹介シートを作成したいと伝えてください。)
- ② 一度、書いたものを自分で英語にしてみる  
(できなくても OK。挑戦してみる事が大切です。)
- ③ 講師に提出 ⇒ 確認 & 提出、返却
- ④ できたものの音読練習(これは自然に言えるまで、何度も練習)

### [TO DO]

- ・手順通りに行く
- ・紙を見なくても、自然に自己紹介ができるまで練習(毎日の音読練習)

## 世界一わかりやすい英文法の授業を読む

初心者向けの英文法書になります。良書です。

### [TO DO]

- ・本書を熟読(理解、身につくまで繰り返し読む): 目安は 5 回以上

### 【POINT】

- ・身につけて、二度と英文法書を開かない! くらいの気持ちで臨む。
- ・「人に説明できるようにする」と意識しながら学ぶと身につけやすい。

## 一億人の英文法を読む

中級者以上向けの英文法書になります。

「世界一わかりやすい英文法の授業」が身についたら、学習を始めてください。  
身につく前に、やらないでください。

### [TO DO]

- ・本書を熟読(理解、身につくまで繰り返し読む): 目安 7 回以上

### 【POINT】

- ・身につけて、二度と英文法書を開かない! くらいの気持ちで臨む。
- ・「人に説明できるようにする」と意識しながら学ぶと身につけやすい。

## be 動詞と一般動詞 | 疑問文、否定文の作り方

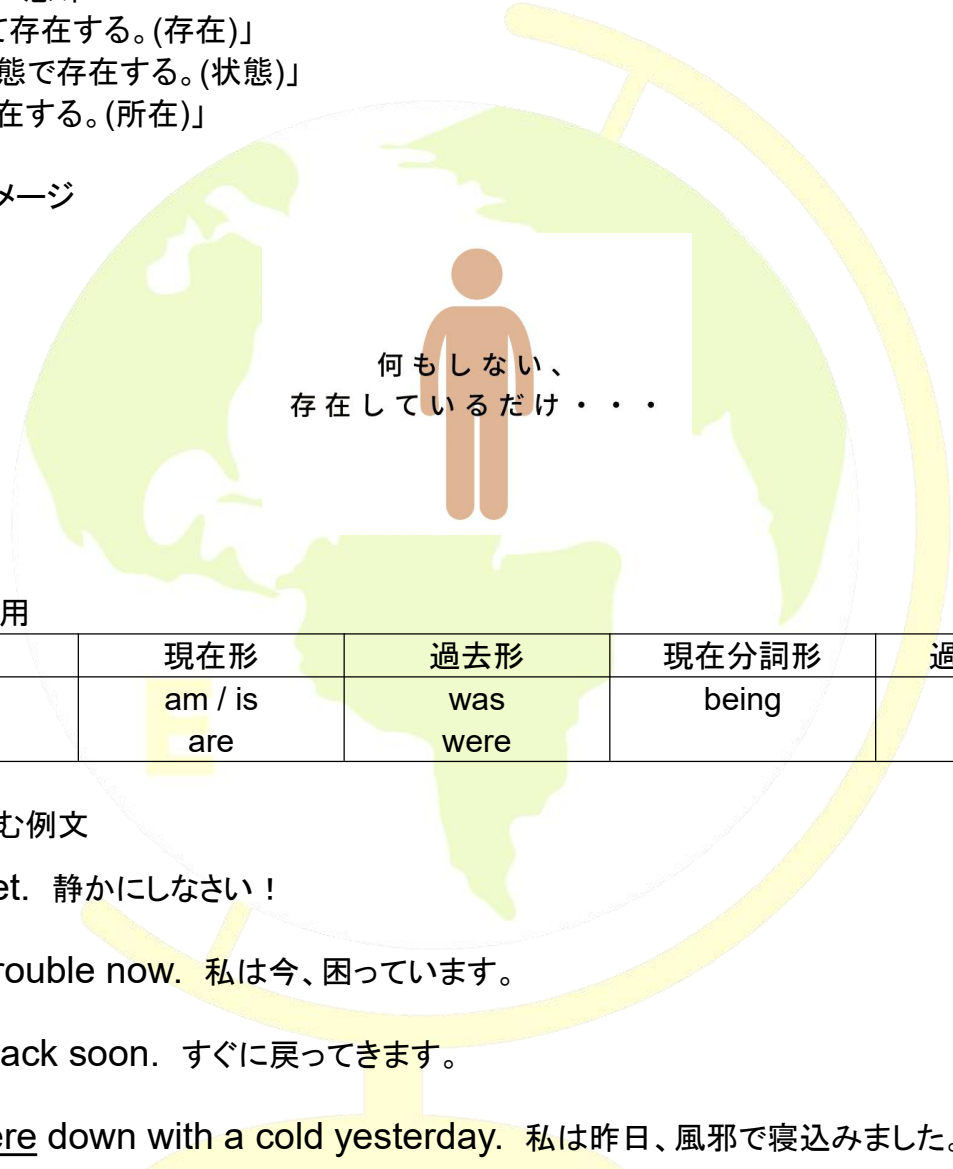
【混乱する方へ】動詞とは？ | Be 動詞と一般動詞の違いについて

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-be/>

be 動詞のもつ意味

- ①「～として存在する。(存在)」
- ②「～の状態が存在する。(状態)」
- ③「～に存在する。(所在)」

be 動詞のイメージ



何もしない、  
存在しているだけ・・・

be 動詞の活用

原形	現在形	過去形	現在分詞形	過去分詞形
be	am / is are	was were	being	been

be 動詞を含む例文

- ① Be quiet. 静かにしなさい！
- ② I'm in trouble now. 私は今、困っています。
- ③ I'll be back soon. すぐに戻ってきます。
- ④ You were down with a cold yesterday. 私は昨日、風邪で寝込みました。
- ⑤ It's on me today. 今日は私のおごりです。
- ⑥ The meeting is over. その会議は終わっています。
- ⑦ She is away from her desk. 彼女は席をはずしています。
- ⑧ My socks are being washed. 私の靴下は洗濯中です。

動詞  
(=動作を表す言葉)

be 動詞

種類: be のみ  
活用

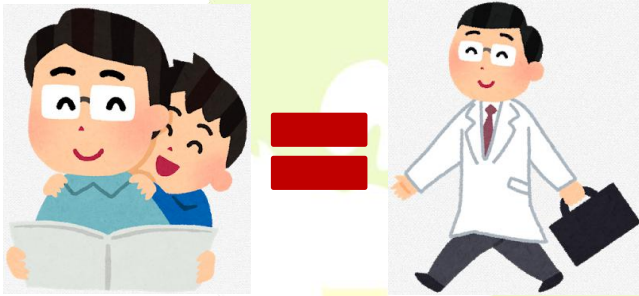
原形	現在形	過去形	主語が下記のと き
be	am	was	I
	is		She, He, 名詞(単数)
	are	were	You, We, 名詞(複数)

[特徴]

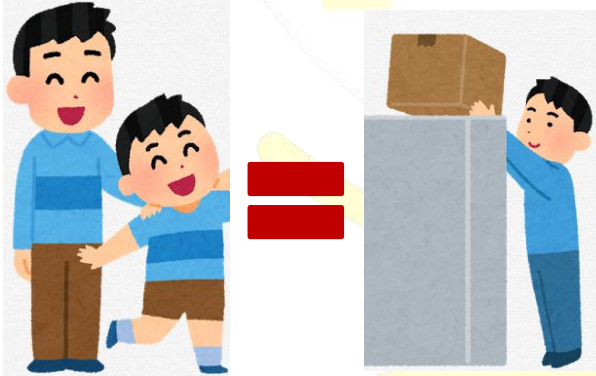
①: 「主語 = 名詞または形容詞」

My father is a doctor.

「My father = a doctor」

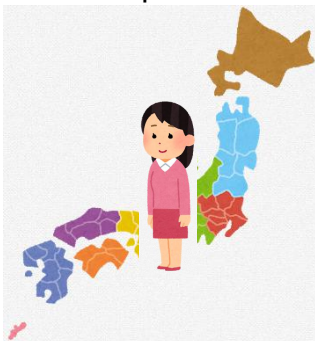


My brother is tall. 「My brother = tall」



②: 存在していること / 具体的な動きなし

I am in Japan.



一般動詞

種類: たくさん

活用: それぞれの動詞ごとに異なる

原形	現在形※	過去形
play	plays	played
eat	eats	ate
read	reads	read

※主語が She, He, 名詞(単数)のとき

[特徴]

具体的な動きがイメージできる

例 1: I play soccer.



例 2: I eat rice.



例 3: I read a book.





疑問文の作り方 | Be 動詞と一般動詞の文章  
→ <https://erinaself.com/kisoeigo-questions/>

【現在形】

[疑問文の作り方]

be 動詞を主語の前にもっていく

You are a teacher.

Are you a teacher?

She is in the classroom?

Is she in the classroom?

[否定文の作り方]

be 動詞の後に「not」を置く

You are a teacher.

You are not a teacher.

She is in the classroom.

She is not in the classroom.

am not → I'm not

are not → aren't

is not → isn't

} に短縮できる

【過去形】

[疑問文の作り方]

be 動詞を主語の前にもっていく

You were shy.

Were you shy?

【現在形】

[疑問文の作り方]

① do か does かを選ぶ

・主語が I, you, we, 名詞(複数)→do

・主語が she, he, 名詞(単数)→does

②: do か does を主語の前にもっていく  
(does のとき、動詞は原形にする)

You play soccer.

Do you play soccer?

She likes animals.

Does she like animals?

[否定文の作り方]

① do か does かを選ぶ

・主語が I, you, we, 名詞(複数)→do

・主語が she, he, 名詞(単数)→does

②: do か does の後に「not」をつけて、  
主語の後ろに置く(does not のとき、動  
詞は原形にする)

You play soccer.

You do not play soccer.

She likes animals.

She does not like animals.

do not→don't / does not→doesn't  
に短縮できる

【過去形】

[疑問文の作り方]

主語が何でも did を使う

※ただし、動詞は原形にする

did を主語の前にもっていく

You played soccer.

Did you play soccer?

[否定文の作り方]

be 動詞の後ろに「not」を置く

You were shy.

You were **not** shy.

was not→wasn't / were not→weren't

に短縮できる

[否定文の作り方]

主語が何でも did を使う

※ただし、動詞は原形にする

did の後に「not」をつけて、主語の後に置く(did not のとき、動詞は原形にする)

She liked animal.

She **did not like** animal.

did not は didn't に短縮できる

原形(be)を使うとき

① 命令形にするとき

例:

You are quiet. ⇒ Be quiet.  
あなたは静かです。 静かにしなさい。

② 助動詞が登場するとき

助動詞(can, may, should, will, must 等)のあとは be になります。

例:

You are here. ⇒ You should be here.  
あなたはここにいます。 あなたはここにいたべきです。

③ 不定詞(to+動詞の原形)で表現するとき

例:

I want to be a teacher. 私は先生になりたい。  
I am happy to be in Japan. 私は日本にいられて、幸せです。

④ 準動詞(be going to, have to 等)が登場するとき

例:

I'm going to be a teacher from next month. 私は来月から、先生になります。  
You have to be quiet in the library. 図書館では、静かにしなければなりません。

[TO DO]

・記事を熟読

## 名詞

英語の「名詞」について

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-meishi/>

名詞とは？ | もの(こと)の名前

【名詞の文章中の役割、置く位置】

- ・主語、補語、目的語になる
- ・前置詞の後ろ

[TO DO]

- ・記事を熟読

## 代名詞

代名詞とは？ | 名詞を簡単に言い換えた言葉

例えば、友達 Ann の紹介をするときに

Ann is Canadian. Ann is 10 years old. Ann plays the piano.

何度も Ann というのはくどいので、「彼女」に置き換えます。

Ann is Canadian. She is 10 years old. She plays the piano.

話を聞いている人が、誰のことかわかれば「代名詞」で置き換えます。

### ■: 人称代名詞・所有代名詞・再帰代名詞

	主格「～は」	所有格「～の」	目的格「～を/ に」	所有代名詞 「～のもの」	再帰代名詞 「自分自身～する」
私	I	my	me	mine	myself
私たち	we	our	us	ours	ourselves
あなた	you	your	you	yours	yourself
あなたたち	you	your	you	yours	yourselves
彼	he	his	him	his	himself
彼女	she	her	her	hers	herself
それ	it	its	it	—	itself

彼ら(彼女ら) たち	they	their	them	theirs	themselves
---------------	------	-------	------	--------	------------

**主格**とは？…主語(文の主人公)になる言葉です。

こちらはアンです。彼女は日本出身です。

→ This is Ann. She is from Japan.

**所有格**とは？…持ち主が誰なのかを表す言葉です。

マイクは私の友人です。

→ Mike is my friend.

**目的格**とは？…動詞に対して「何[誰]を(に)?」の答えになる言葉です。

私は昨日、彼に会いました。

→ I met him yesterday.

**所有代名詞**とは？…〈所有格＋名詞〉を表す言葉です。「～のもの」

私の自転車 = 私のもの

my bicycle = mine

この自転車は私のものです。

→ This bicycle is mine.

**再帰代名詞**とは？…主語と目的語が同じ時、目的語として使う。「～自身」

She cut herself on a piece of paper. 彼女は紙で(指を)切った

I'd like to introduce myself. 自己紹介をしたいと思います。

主語と目的語の人物が同じとき、再帰代名詞を使います。

## ■: 指示代名詞

単数	複数
① this (これ)	② these (これら)
③ that (あれ)	④ those (あれら)

⑤ such  
(そのようなもの・そのような人)

⑥ same  
(同じもの／同じ人)

① this: (近くを指して)これ

This is my sister. こちらは私の妹です。

② these: (近くを指して)これら

Whose are these? これらは誰の物？

③ that: (遠くを指して)あれ

After that, I left there. あの後、私はそこを出た。

④ those: (遠くを指して)あれら

Are those boys your friends? あれらの男の子たちは、あなたの友達ですか？

⑤ such: そのようなもの、そのような人

I got you the present to make up for being such a jerk to you.

ひどいことを言った償いをしたくて、プレゼントをもってきた。

⑥ same: 同じもの、同じ人

We don't want to make the same mistakes. おなじ過ちを犯したくない。

【補足資料】that | 5つ使い方を完全攻略【代名詞・形容詞・関係代名詞・接続詞・同格】

→ <https://erinaself.com/5-that/>

## ■: 不定代名詞

①: one (同種をさして)それ

My laptop was broken. It is my favorite. I should buy a new one.

ノートパソコンが壊れた。お気に入りなのに。新しいのを買わなきゃ。

(one → 壊れたものの、同じ種類のパソコン)

②: another 別の不特定の1つ

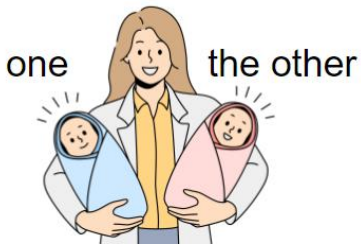
This tie is too plain. Could you show me another, please?

このネクタイは、地味すぎます。別のを見せてくれませんか？  
(※another = a tie)

③: the other 2つのうち、残りの1つ[人]

They are twins, but one is a boy and the other is a girl.

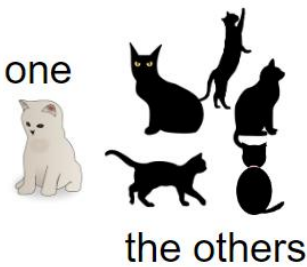
彼らは双子で、一人は男の子で、もう一人は女の子です。



④: the others (特定の)残りの全部

One of the kittens is white, and the others are black.

子猫たちの1匹は白く、残り全ては黒です。



⑤: others そのほかのもの[人](複数)

In their country, some people speak English, and others speak French.

彼らの国では英語を話す人もいれば、フランス語を話す人もいる。

	意味	代名詞	形容詞
either	2つ[人]のうち どちらか1つ[人]	either of (複数名詞) either of the students is	either 単数名詞 either student is
each	それぞれの (個々にフォーカス)	each of (複数名詞) each of the students is	each 単数名詞 each student is
every	すべての～ (個々にフォーカス)		every 単数名詞 every day, every student

[either]

Here are two questions. Answer either of them.

ここには2つの質問があります。どちらか一つを教えてください。

Would you like coffee or tea? - Either is fine.

コーヒーと紅茶どちらにしますか？ どちらでもいいです。

[each]

Each house is painted a different color.

それぞれの家は違う色で塗られています。

Each of the students has to make a presentation.

それぞれの生徒は、プレゼンをしなくてはなりません。

[every]

I read every book in this bookstore.

私はこの本棚にある本を全て読みました。

3つの「E」は単数扱いとなります。

	意味	代名詞	形容詞
all	全ての～ 全部	all of (複数名詞) all of my students are	all 複数名詞 all students are
both	両方の	both of (複数名詞) both of my children are	both 複数名詞 both my children are

[all]

All of us were enjoying the barbecue.

私たち全員は、バーベキューを楽しんでいました。

All students are in the classroom.

全ての生徒は、教室にいます。

[both]

Both of my children like school.

私の子供2人は学校が好きです。

**Both** my children like school.

私の子供 2 人は学校が好きです。

**Both** blue **and** black jeans are popular.

青色と黒色のジーンズ両方とも、人気です。

[TO DO]

・上記を熟読

## 形容詞

英語の「形容詞」について

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-keiyoshi/>

形容詞とは？ | 名詞を説明する

【形容詞の役割、置く位置】

- ・名詞を説明する
- ・補語(C)になる
- ・名詞の前後

【形容詞として働くもの】

- ・関係代名詞
- ・分詞(現在分詞、過去分詞)
- ・不定詞(形容詞的用法)
- ・関係副詞

性格を表す形容詞 67 個

→ <https://erinaself.com/adjective-personality/>

感情を表す形容詞 54 個

→ <https://erinaself.com/adjective-emotions/>

[TO DO]

・記事を熟読



## 副詞

英語の「副詞」について

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-fukushi/>

副詞とは？ | 名詞以外を説明する

【副詞の役割】

- ・名詞以外(動詞や形容詞、文全体)を説明する
- ・修飾語(M)として扱われる

[TO DO]

- ・記事を熟読

## 冠詞

英語の「冠詞」について

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-kanshi/>

冠詞とは？ | 名詞の前に置いて、それが1つなのか、特定か表す

[TO DO]

- ・記事を熟読

## 5文型の理解 (例: get)

例文で覚える！基本動詞 “get” の使い方【5文型で捉えると忘れない】

→ <https://erinaself.com/get-sentences/>

get は 1、2、3、4、5 文型すべて使える動詞です。  
get を使って、文型の感覚をつかんでいきましょう。

[TO DO]

- ・記事を熟読
- ・ get を使った例文(文型を意識して)を 5 つ以上作成 ⇒ 講師に提出

## There is(are)構文

There is(are)構文の使い方を完全マスター

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-thereisare/>

[TO DO]

・記事を熟読

## 一般動詞の自動詞と他動詞

英語の自動詞と他動詞の違いは？ | 使い方と見分け方を完全攻略

→ <https://erinaself.com/intransitive-transitive-verb/>

自動詞…後ろに、目的語を置かない。

他動詞…後ろに、目的語を置く。

※目的語 = 名詞(代名詞、名詞句、名詞節)

【基本】

動詞が自動詞	SV+(前置詞+名詞)	第1文型
動詞が他動詞	SVO	第3文型

自動詞	Sが動いている。Sが存在している。ことを表現
他動詞	SがO(目的語)に力を加えている(Vする)。ことを表現

[TO DO]

・記事を熟読

## SVC の形をもつ動詞

第 2 文型(SVC)をとる動詞 25 個を一挙ご紹介！例文あり

→ <https://erinaself.com/svc-verb/>

[TO DO]

・記事を熟読

## SVOO の形をもつ動詞

第 4 文型(SVOO)をとる動詞 38 個一挙ご紹介！例文あり

→ <https://erinaself.com/svoo-verb/>

[TO DO]

・記事を熟読

## SVOC の形をもつ動詞

第 5 文型(SVOC)をとる動詞 29 個一挙ご紹介！例文あり

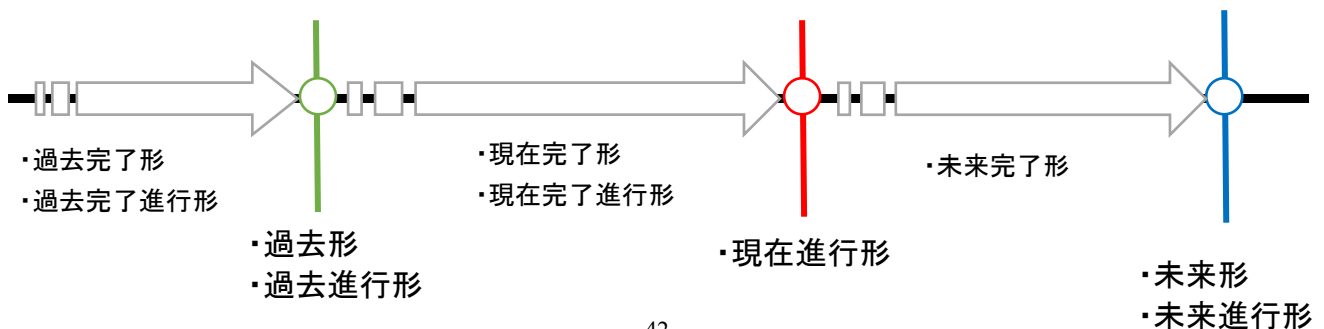
→ <https://erinaself.com/svoc-verb/>

[TO DO]

・記事を熟読

## 時制の理解

・現在形（普段～する）



### ～基本時制～

「現在形」現在の習慣的な動作、状態、事実など

「過去形」過去の動作、状態、事実など

「未来形」未来の動作、状態、事実など

### ～進行形～

ある時点で進行中の動作

### ～完了形～

ある時点での状態が、それよりも前の事実とつながっていることを表す

形の整理 例:動詞 work

基本時制	
現在	work
過去	worked
未来	will work

	進行形	完了形	完了進行形
現在	is working	have worked	have been working
過去	was working	had worked	had been working
未来	will be working	will have worked	will have been working

### 【現在形】

I usually eat toast for breakfast.

私は普段朝食にトーストを食べます。

I live in Tokyo.

私は東京に住んでいます。

### 【過去形】

The game started at six.

その試合は6時に始まった。

### 【未来】

My grandfather will be eighty next year.

私の祖父は来年80歳になります。

I will buy a smartphone this weekend.

私は来週スマホを買うつもりです。

It's going to be cold tomorrow.

明日は寒くなりそうだ。

I'm going to see the movie tomorrow.

私は明日その映画を見るつもりです。

【現在進行形・過去進行形・未来進行形】

Someone is knocking on the door.

誰かがドアをノックしています。

It was snowing this morning.

今朝は雪が降っていました。

This time tomorrow, we'll be flying over the Pacific.

明日の今頃、私たちは飛行機で太平洋を渡っているだろう。

【現在完了形】

I have already done my homework.

私はすでに宿題を終えた。

I've eaten Thai food several times.

私はタイ料理を何度か食べたことがある。

I've had this teddy bear since I was a baby.

赤ちゃんの時からずっと、このクマのぬいぐるみを持っています。

【過去完了形】

The first class had already started when I got to school.

私が学校に着いたとき、すでに1時間目の授業は始まっていた。

I had never eaten Greek food before I went to Greece.

私はギリシャに行く前にはギリシャ料理を一度も食べたことがなかった。

They had known each other for six years before they got married.

彼らが結婚した時、お互い知り合ってから6年経っていた。

【未来完了形】

Cherry blossoms will have finished by the weekend.

桜の花は週末までに散っているでしょう。

If he wins again, he'll have won ten Olympics medals.

もしもう一度勝てば、彼はオリンピックで 10 個のメダルを獲得したことになります。

We will have lived here for seven years in March.

3 月で、私たちはここに 7 年住んでいることになります。

#### 【現在完了進行形】

It's been raining for three days.

3 日間、雨が降り続けている。

#### 【過去完了進行形】

We had been waiting for an hour before our bus arrived.

バスが到着するまで、私たちは 1 時間待ち続けていました。

#### [TO DO]

- ・上記を熟読
- ・例文を何度も繰り返し音読
- ・時制を意識して、文章を作ってみる ⇒ 講師に提出

### 現在形 vs 現在進行形

進行形とは？ | 現在形と現在進行形の違いについて

→ <https://erinaself.com/progressive-form/>

- ・現在形 : 主に、習慣を表現
- ・現在進行形 : 今、物事が進行中であることを表現

#### [TO DO]

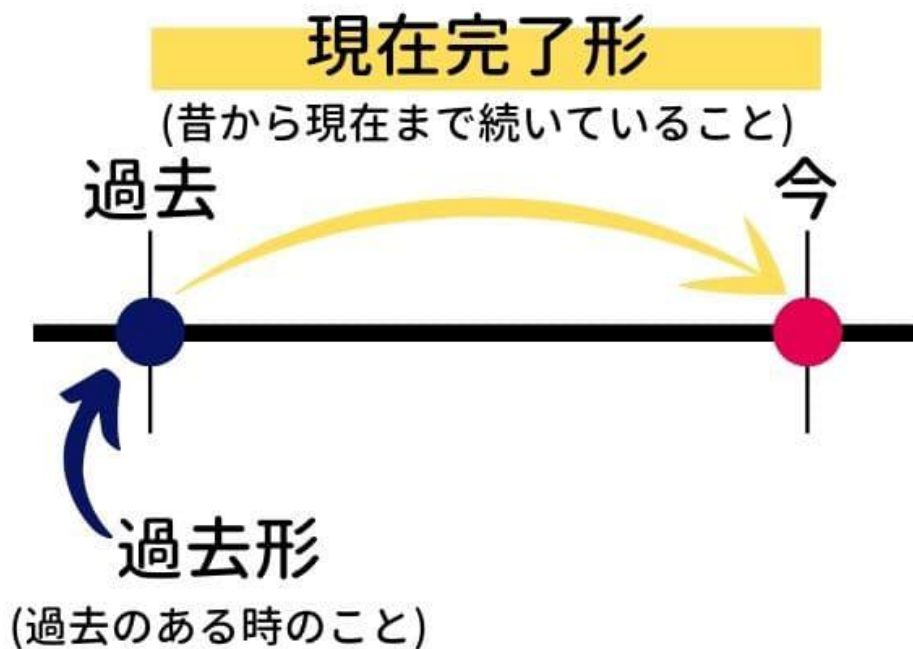
- ・記事を熟読

### 過去形 vs 現在完了形

現在完了形とは？ | 過去形との違いがわかる

→ <https://erinaself.com/present-perfect/>

- ・過去形: 過去のある時点での出来事を言いたいとき
- ・現在完了形: 過去から現在まで続いている出来事を言いたいとき



- ①: I lived in Japan. 私は日本に住んでいました。  
 ②: I have lived in Japan. 私は日本に住んでいます。

①では過去、日本に住んでいたことを表します。  
 今現在は日本に住んでいません。

②では、過去のあるときから現在まで、日本に住んでいることを表します。  
 現在完了形は、名前の通り「現在(今)」の意味が含まれています！

[TO DO]

- ・記事を熟読

### 未来形 : will vs be going to

未来表現 will と be going to の使い分け【例文で覚える】

→ <https://erinaself.com/future-tense/>

- ・ will 「(未来に)~するんだ！」という意志を表現
- ・ be going to 「~する(予定)です！」という確実(確定)している予定を表現

表現力アップ！

英語の未来形・未来表現 5 選

→ <https://erinaself.com/phrase-future-tense5/>

- ① **will**  
単純未来: 自然の成り行きで起こる未来の出来事  
意志未来: 主語がこれから何かをする！という意志を表現
- ② **be going to**  
「~する(予定)です！」という確実(確定)している予定を表現
- ③ **be about to**  
「まさに~しようとしている。」という、かなり近い未来を表現
- ④ **be planning to**  
「(計画していること)をするつもりです。」という計画していることをするということを表現
- ⑤ **be Ving**  
形は現在進行形ですが、状況や文脈によって、「~する予定だ。」という未来を表現

[TO DO]

・記事を熟読

## 助動詞

英語の助動詞 10 種類を一挙整理！意味と使い方をマスター

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-jodoshi/>

助動詞とは？ ⇒ 話し手の感情をより明確に表現できる／動詞の前に置く

助動詞	意味	日本語訳
can	能力・可能 可能性、予想 許可・依頼・提案	「~できる」 「~の可能性がある」「~しうる」 「~してもいい。」「~してもらえませんか？」「~してもいいですか？」 参考: <a href="https://erinaself.com/auxiliary-verb-can/">https://erinaself.com/auxiliary-verb-can/</a>



could	can の過去形 能力 可能性、予想(⇒許可・依頼・提案) 仮定法	「～できた。」 「～できる可能性がある。」「～しうる。」「～してもいい。」 「～してもらえませんか?」「～してもいいですか?」 「～できるだろうに。」 参考: <a href="https://erinaself.com/auxiliary-verb-could/">https://erinaself.com/auxiliary-verb-could/</a>
will	意志	「～する(ぞ)。」 参考: <a href="https://erinaself.com/future-tense/">https://erinaself.com/future-tense/</a>
would	will の過去形 昔の習慣 予想・妄想 仮定	「(昔よく)～したなあ。」 「～だろう。」 「～なのに。」 参考: <a href="https://erinaself.com/auxiliary-verb-would/">https://erinaself.com/auxiliary-verb-would/</a>
may	許可 予想 祈願	「～してもいい。」 「～かもしれない。」 「～でありますように。」 参考: <a href="https://erinaself.com/auxiliary-verb-may-might/">https://erinaself.com/auxiliary-verb-may-might/</a>
might	may の過去形 仮定 許可 予想	「～かもな。」 「～してもいい。」 「～かもしれない」 参考: <a href="https://erinaself.com/auxiliary-verb-may-might/">https://erinaself.com/auxiliary-verb-may-might/</a>
shall	確信 Shall I~? Shall we~?	「必ず～になる。」 「～してもいいですか?」 「(一緒に)～しませんか?」
should	義務・助言 予想	「～すべき」「～した方がいい」 「～のはずだ」 参考: <a href="https://erinaself.com/auxiliary-verb-should/">https://erinaself.com/auxiliary-verb-should/</a>
must	義務 強い確信	「～しなければならない。」 「～に違いない。」 参考: <a href="https://erinaself.com/auxiliary-verb-must/">https://erinaself.com/auxiliary-verb-must/</a>
have to	義務	「～しなければならない。」 参考: <a href="https://erinaself.com/have-sentences/#have_to">https://erinaself.com/have-sentences/#have_to</a>
used to	過去の習慣	「(以前)～していた。」(今はもうしていない)

【can】 能力、予想・可能性、許可、提案

I can play the piano. 私はピアノを弾くことができます。(能力)

You can be a pilot. あなたはパイロットに違いない。(予想・可能性)

Can I use a pen? ペンを使ってもいいですか。(許可)

Can you open the door? ドアを開けていただけますか。(提案)

【could】能力、予想・可能性、許可、提案

I could swim very well. 私は上手に泳ぐことができた。(能力 過去)

It could be wrong. 間違っているかもしれない。(予想)

Could I use a pen? ペンを使ってもいいですか。(許可)

Could you help me? 手伝っていただけませんか。(提案)

【will】 意志、予想

I'll win the game next month. 来月の試合には[必ず]勝つだろう。(意志)

It'll be rainy tomorrow. 明日は雨だろう。(予想)

【would】 予想・仮定

Would you call me back later? 後で電話をかけてくれませんか。(予想・仮定)

I thought you would go there. あなたがそこに行くだろうと思った。(予想・仮定)

【may】 許可、予想

May I help you? お手伝いしましょうか。(許可)

It may be rainy soon. もうすぐで雨が降るかもしれない。(予想)

【might】 許可、予想

You might ask before you use a room. 部屋を使うなら言ってくれてもいいのに。(許可)

She might be in Nagoya. 彼女は名古屋にいるかもしれない。(予想)

【shall】 提案

Shall I clean your room? お部屋を掃除しましょうか。(提案)

Shall we go shopping? 買い物に行きませんか。(提案)

【should】 提案、予想

You should study hard. あなたはもっと勉強すべきだ。(提案)

She should get to the office in an hour. 彼女は1時間で会社に着くだろう。(予想)

【must】義務、予想、禁止

I must tell him about the secret. 彼に秘密について、話さなければなりません。(義務)

She must be sick. 彼女は病気に違いない。(予想)

You must not smoke here. ここで煙草を吸ってはいけません。(禁止)

【have to】義務

I have to go to the hospital. 病院にいかなければならない。(義務)

【used to】過去の習慣

I used to play the piano. 以前は、ピアノを弾いていました。

【POINTS】

※過去形を使うほうが柔らかく表現できる。

「予想・推量」の意をもつ助動詞の確信度

高

She is married. 彼女は結婚している。

She must be married. 彼女は結婚しているに違いない。

She would be married. 彼女は結婚しているでしょう。

She should be married. 彼女は結婚しているはずだ。

She can be married. 彼女は結婚しているかもしれない。

She could be married. 彼女は結婚しているかもしれない。

She may be married. 彼女は結婚しているかもしれない。

低

She might be married. 彼女は結婚しているかもしれない。

※人や状況によって、この度合は異なります。

助動詞の意味を2つ組み合わせたいとき

原則、助動詞を2つ置くことはできません。例： She will can go to the park.(×)

can	→ be able to	
must	→ have to	
wSill	→ be going to	に置き換えることができます。

will be able to	～できるでしょう。	未来＋可能性
may be able to	～できるかもしれない。	予想＋可能性
might be able to	～できるかもしれない。	予想＋可能性
should be able to	～できるべきだ。	助言＋可能性
will have to	～しなければならないだろう。	未来＋義務
may(might) have to	～しなければならないかもしれない。	予想＋義務

【例文】

With practice, she will be able to ride a bike without training wheels.  
練習を積みめば、彼女は補助輪なしで自転車に乗ることができるでしょう。

If the weather improves, we may be able to have a picnic tomorrow.  
天気が回復すれば、私たちは明日ピクニックができるかもしれません。

After some training, they might be able to speak Spanish fluently.  
トレーニングを受けた後、彼らはスペイン語を流暢に話せるかもしれません。

If they arrive on time, they should be able to catch the last train.  
彼らが時間通りに到着すれば、最終電車に間に合うはずです。

I'm running late, so I will have to hurry to catch the bus.  
時間が遅れてしまったので、バスに乗るために急がなければなりません。

The store closes early on Sundays, so we may have to shop today instead.  
店舗は日曜日に早く閉まるので、今日買い物をする必要があるかもしれません。

It's raining heavily, so we may have to cancel our picnic plans.  
雨が激しく降っているので、ピクニックの計画をキャンセルしなければならないかもしれません。

They might not be able to finish the project on time.

彼らは期日までにプロジェクトを終えられないかもしれません。

[TO DO]

・記事を熟読

## 疑問詞 8 つ

8 つの疑問詞の意味と使い方を完全マスター

→ <https://erinaself.com/interrogative/>

What の使い方	基本の意味→名詞を知りたい What を使った表現→疑問詞、関係代名詞、複合関係詞、感嘆文など 参考: <a href="https://erinaself.com/how-to-what/">https://erinaself.com/how-to-what/</a>
Who の使い方	基本の意味→誰かを知りたい Who を使った表現→疑問詞、関係代名詞、複合関係詞、間接疑問など 参考: <a href="https://erinaself.com/how-to-who/">https://erinaself.com/how-to-who/</a>
Whose の使い方	基本の意味→所有者を知りたい Whose を使った表現→疑問詞、関係代名詞、複合関係詞 参考: <a href="https://erinaself.com/how-to-whose/">https://erinaself.com/how-to-whose/</a>
Where の使い方	基本の意味→場所を知りたい Where を使った表現→疑問詞、間接疑問、関係副詞、複合関係詞など 参考: <a href="https://erinaself.com/how-to-where/">https://erinaself.com/how-to-where/</a>
When の使い方	基本の意味→いつかを知りたい When を使った表現→疑問詞、接続詞、関係副詞、複合関係詞など 参考: <a href="https://erinaself.com/how-to-when/">https://erinaself.com/how-to-when/</a>
Which の使い方	基本の意味→選択(どっち?) Which を使った表現→疑問詞、関係代名詞、間接疑問、複合関係詞など 参考: <a href="https://erinaself.com/how-to-which/">https://erinaself.com/how-to-which/</a>
Why の使い方	基本の意味→理由を知りたい Why を使った表現→疑問詞、関係副詞など 参考: <a href="https://erinaself.com/how-to-why/">https://erinaself.com/how-to-why/</a>
How の使い方	基本の意味→状態・方法(手段)・量 How を使った表現→疑問詞、関係副詞、複合関係詞、間接疑問、感嘆文など 参考: <a href="https://erinaself.com/how-to-how/">https://erinaself.com/how-to-how/</a>

[TO DO]

・記事を熟読

・それぞれの疑問詞を使って、例文作成

## 関係代名詞の概要

### 前の名詞を説明

関係代名詞  
(前の名詞を説明する＝形容詞の働きをする)

#### 主格

説明する名詞が  
「人」の時 → who  
「人以外」の時 → which / that

#### 目的格

説明する名詞が  
「人」の時 → whom  
「人以外」の時 → which / that  
※目的格の「whom, which, that」は文章中で省略することができます。

所有格  
whose

### 【大切】 主格、目的格、所有格の文章を一発で見分ける方法

主格 **My son** [who loves animals] wants to be a zookeeper.

Is that train [which(that) leaves at five]?

[ ]内の who もしくは which(that)の後が動詞！ のとき

目的格 **The movie** [which(that) we saw yesterday] was very difficult

**The woman** [whom I met at the station yesterday] is my teacher.

[ ]内の whom もしくは which(that)の後が「主語(S)＋動詞(V)」！ のとき

※目的格の場合「whom, which, that」は省略することができます。

所有格 **That girl** [whose hair is long] is Maria.

[ ]内の whose の後が名詞！ のとき

[TO DO]

・上記を熟読

## 関係代名詞（主格）

関係代名詞(主格)の読み方と作り方、見分ける方法

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-relativepronoun-s/>

### 英語から日本語にする:4つの手順

#### 1. 主語と述語を探す【超重要】

He **has** a friend who **lives** in America.

上の文章を見ると、動詞が2つありますね。  
「has」と「lives」の一般動詞があります。

主語は動詞の前にありますから、「He」もしくは「He has a friend who」になります。  
ここでは候補に目を付けておきます。

#### 2. 関係代名詞を探し、前にある名詞を確認

「who / which / that」を探してください。

今回は「who」がありますね。その前の単語(名詞)は? 「a friend」です。

ということは、「who」以下の文章(lives in America)は「a friend」を説明します。  
(関係代名詞は前の名詞を説明します。)

「アメリカに住んでいる → 一人の友人」

この文章の動詞は「has」主語は「he」になります。

#### 3. 左から順番に訳す

「彼は／持っている(いる)／1人の友人を(どんな友人?)／住んでいる／アメリカに」

関係代名詞(who)は、今から前の名詞を詳しく説明しますよー! という合図です。

#### 4. 日本語の語順に直す

「彼はアメリカに住んでいる友人が1人います。」

## 日本語を英語にする:4つの手順

### 1. 結論(言いたいこと)をはっきりさせる【超重要】

例文「動物が大好きな私の息子は、動物園の飼育員になりたがっている。」

英語は「結論 → 詳細」という語順なので、まず**結論(言いたいこと)を明確**にします。結論には必ず主語と動詞を入れてください。

「私の息子は、動物園の飼育員になりたがっている。」-メイン文章①

### 2. 名詞を説明している文章を探す

先ほどの結論を除くとわかりやすいです。残っているのは、「動物が大好きな」です。これは何を説明していますか??「私の息子」です!

「動物が大好きな → 私の息子」これを主語と動詞がある文章に直します。  
「私の息子は動物が大好きです。」-サブ文章②

### 3. メイン文章(①)とサブ文章(②)をそれぞれ英語に訳す

①私の息子は動物園の飼育員になりたがっている。

My son wants to be a zookeeper.

②私の息子は動物が大好きです。

My son loves animals.

My son は三人称単数なので、一般動詞の後ろに s(es)をつけます。

### 4. 説明したい名詞の直後に、関係代名詞とサブ文章②を挿入

説明したい単語(名詞)は、「My son」です。

サブ文章②の「My son」を「who」にかえて、そのままメイン文章①の「My son」の後に文を挿入します。

関係代名詞は説明する名詞の直後に置きます。

My son who loves animals wants to be a zookeeper.

※説明する名詞が人の場合は「who」、人以外の場合は「which / that」です。

[TO DO]

・記事を熟読



## 関係代名詞（目的格）

関係代名詞(目的格)の読み方と作り方、見分ける方法

→ <https://erinaself.com/kisoeigo-relativepronoun-o/>

### 英語から日本語にする:3つの手順

例文: This is the camera that I really want.

#### 1. 主語と述語(動詞)を探す【最重要】

上の文章を見ると、動詞が2つありますね。

例え、英文の中に動詞が2つ(3つ、それ以上)あるように思えたとしても、原則、文全体の動詞は1つしかありません。「○○が○○をする。」という風に、1文に動詞は1つです。

今回の文章は「is」と「want」が動詞だと考えられます。

主語は動詞の前にあるので、今回の主語は

①This

②This is the camera that I really  
のどちらかになります。

①は、「これは～です。」とできますが、②を主語にしようとしても上手くできないですよ...  
これ、カメラ、です、私、本当には、、、???と意味がうながりません。

This が全体の主語、is が全体の述語(動詞)になります。

#### 2. 関係代名詞(which, that, who[m])を探し、前にある名詞を確認

「who[m] / which / that」を探してください。

今回は「that」があります。その前の単語(名詞)は? 「the camera」です。

ということは、「that」以下の文章(I really want)が「the camera」を説明します。

関係代名詞は、前の名詞を説明します。

「私が本当に欲しい → そのカメラ」

#### 3. 左から順番に訳す

「これは／～です／そのカメラ／私が本当に／欲しい」

【補足】日本語の語順に直します。「これは私が本当に欲しい、カメラです。」

## 日本語を英語にする:4つの手順

例文:私が昨日会ったその男性は、主人の兄でした。

### 1. 結論(言いたいこと)をはっきりさせる

英語は「結論→詳細」という語順なので、結論(言いたいこと)を明確にします。結論には必ず、主語と動詞を含み、簡潔な文章にしてください。

「その男性は、主人の兄でした。」これをメイン文章(①)とします。

### 2. 名詞を説明している文章を探す

名詞を説明している文章は何ですか？

「私が昨日会った → その男性」

これを主語と動詞がある文章に直します。

「私は昨日、その男性に会いました。」  
これをサブ文章(②)とします。

### 3. メイン文章(①)とサブ文章(②)をそれぞれ英語に訳す

①その男性は、主人の兄でした。  
The man is my husband's brother.

②私は昨日、その男性に会いました。  
I met the man yesterday.

### 4. 説明したい名詞の直後に、関係代名詞とサブ文章(②)を挿入

説明したい単語(名詞)は「the man」です。

説明したい名詞が人のとき → whom  
説明したい名詞が人以外るとき → which, that  
を、名詞の後ろに置き、サブ文章(②)を挿入します。

The man whom I met ~~the man~~ yesterday is my husband's brother.  
挿入する時、サブ文章(②)の目的語はとります。

関係代名詞(目的格) whom, which, that は省略できます。  
The man I met yesterday is my husband's brother.

[TO DO]

・記事を熟読

## 不定詞

形:「to + 動詞の原形」

不定詞は3つ種類があります。

### 名詞的用法

名詞 ⇒ 物の名前

### 形容詞的用法

形容詞 ⇒ 名詞を説明

### 副詞的用法

副詞 ⇒ 名詞以外を説明

**【名詞的用法】**…文章中で主語、目的語、補語になる。

1. 主語として:「～することは、…だ。」

To play soccer is fun. = It's fun to play soccer.

サッカーをすることは、楽しいです。

To learn foreign languages is useful. = It's useful to learn foreign languages.

外国の言語を学ぶことは、役に立ちます。

To sleep well is important. = It is important to sleep well.

よく眠ることは、大切です。

※文頭に「it」を置いて、to 以下を後ろに置くこともできます。意味は同じです。

2. 目的語として:「～することを、Vする。」

I want to be a professional guitarist.

私は、プロのギタリストになることが、欲しい。= 私はプロのギタリストになりたい。

I want to visit Canada.

私はカナダを訪れたい。

I decided to study abroad.

私は留学することを、決めた。

I'm planning to go to Hokkaido this winter.

私は今年の冬、北海道に行くことを計画しています。

.....は前の動詞(青文字)の目的語になっています。

※「目的語」とは、動詞に対応する**名詞**です。動詞に対して、「何を(誰に)?」を聞いた答えです。

「want」(欲しい) → 「何を?」 → 「a new CD」(一枚の新しい CD を)  
「meet」(会う) → 「誰に?」 → 「my grandparents」(祖父母に)

後ろに不定詞を置く動詞

afford	～する余裕がある	agree	～することに同意する
choose	～すうことを決める	decide	～することを決める
resolve	～しようと決心する	determine	～することを決心する
promise	～することを約束する	decline	～することを断る
hesitate	～するのをためらう	fail	～しそびれる
refuse	～することを拒む	mean	～するつもりである
offer	～することを申し出る	pretend	～するふりをする
help	～するのに役立つ	manage	～をなんとかやり遂げる
hope	～することを望む	swear	～することを誓う
want	～したい	wish	～したい
desire	～することを強く望む		

など

3. 補語として:「S(主語)は、～になることです。」

My dream is to become a singer. 私の夢は歌手になること、です。

主語(My dream) = 補語(to become a singer) イコールの関係が成り立ちます。

**【形容詞的用法】**…前の名詞を説明する

I have a lot of homework to do.

私はすべきたくさん宿題があります。

I need something to write with.

私は書くための何か(道具)が必要です。

We've found a good way to solve the problem.

私たちは、その問題を解決するための良い一つの方法を見つけました。

Please give me **something** to drink.

何か飲むためのもの(飲み物)を私にください。

Jim is looking for **someone** to help him with his homework.

ジムは、宿題を手伝ってくれる誰か(人)を探しています。

#### 【見分け方／訳し方】

1. 「to + 動詞(原形)」を見つける。
2. その前に名詞がある。
3. その部分を訳してみる。その後、文全体を訳す。
4. 訳し方「～するための(名詞)」 「～すべき(名詞)」

#### 【副詞的用法】 結果(行動) ⇔ 原因、理由の関係がある 「～するために」

Emily was surprised / to see the photograph. エミリーはその写真を見て、驚いた。

結果(行動)

理由

I'm saving money / to buy a new phone. 私は新しい携帯を買うためにお金を節約しています。

結果(行動)

理由

He woke up / to find himself in the hospital. 彼は起きて、病院にいることに気づいた。

彼は起きた



結果

Eric grew up / to become a professional guitarist. エリックは成長して、プロのギタリストになった。

エリックは成長した



結果

#### 【見分け方／訳し方】

1. to の前で区切ってみる。
2. to の前の文だけで文章が完結している。
3. to の前後で因果関係(結果と理由)を意識して訳してみる。to 以下が結果になる場合もあります。
4. 訳し方「～するために…する。」 「…して、～になる。」

#### 【補足】

まぎらわしい！分詞構文と不定詞(副詞的用法)の違いを攻略

→ <https://erinaself.com/participial-infinitive/>

～まとめ～

	名詞的用法	形容詞的用法	副詞的用法
訳	～すること	～するための(名詞) ～すべき(名詞)	～するために…する …して～する
役割	主語・補語・目的語になる	名詞を説明する	動詞を説明する
見分け方	名詞の位置にある ※「It is (形容詞) to V」	前に名詞がある	to の前で文章が完結 to の前後で因果関係がある

[TO DO]

・上記を熟読

### to 不定詞を含む、よく使う英語の型

基本の形:「S+V+O(人)+to V[原形]」

◎基本の意味

- ・ S は、(人)に～させる。
- ・ S が働きかけて、(人)に、(to 以下のこと)をしてもらう(させる)。

「V O[人] to V[原形]～」の形をとる動詞 41 個 | 英文は形で覚える

→ <https://erinaself.com/vsbtov/>

[TO DO]

・記事を熟読

### 動名詞

動名詞: 動詞を**名詞化したもの**

「食べる(動詞) eat」→「食べる**こと**(名詞) eating」

**【大切】** 働きは「名詞」と同じなので、主語(S)・目的語(O)・補語(C)として使うことができます。

ケーキを作ることは、面白い。(S)

Making cakes is interesting.

私の趣味は、ケーキを作ることです。(C)

My hobby is making cakes.

私はケーキを作るのが好きです。(O)

I like making cakes.

前置詞の後ろに動名詞を置くことができます。(※前置詞の後ろは名詞しか置けません。)

彼女は英語を話す**ことが得意です**。(be good at Ving)

She is good at speaking English.

この本を読む**ものに飽きた**。(この本を読むのにうんざりしている。)(be tired of Ving)

I'm tired of reading this book.

私は写真を撮る**ことに興味があります**。(be interested in Ving)

I'm interested in taking pictures.

後ろに動名詞を置く動詞

admit	~ということを認める	advise	~することを忠告する
avoid	~しないようにする	consider	~することをよく考える
delay	~することを延期する	postpone	~することを延期する
put off	~するのを延期する	enjoy	~することを楽しむ
finish	~することを終える	imagine	~することを想像する
keep	~し続ける	mention	~すると述べる
suggest	~することを提案する	miss	~しそこなう
detest	~することをひどく嫌う	mind	~するのを嫌だと思ふ
quit	~をやめる	practice	~することを練習する
recall	~したことを思い出す	recollect	~したことを思い出す
recommend	~することを勧める	deny	~することを否定する
resist	~することに抵抗する		

など

[TO DO]

・上記を熟読

## 不定詞、動名詞両方もつ動詞

後ろに動名詞、不定詞両方置ける動詞(意味はほぼ同じ)

begin	～し始める
start	～し始める
continue	～を続ける
like	～することが好き
love	～することが大好き
dislike	～することを嫌だと思ふ
hate	～することを嫌に思ふ
prefer	～することが好き／～することを好む
cease	～することを止める／～すること中止する
propose	～することを提案する

など

後ろに動名詞も不定詞も置けるが、意味が異なる動詞

	動名詞(完了した動作)	不定詞(未完了の動作)
forget	～したことを忘れる	(これから)～することを忘れる
remember	～したことを覚えている	(これから)～することを覚えておく
try	試しに～してみる(やった)	(これから)～しようとする[努める]
stop	～するのをやめる	(これから)～するために止まる
regret	～したことを後悔する	残念ながら～する

など

《forget》

私は彼女と京都に訪問したことを忘れはしないだろう。

I'll never forget visiting Kyoto with her.

コンピューターの電源を切り忘れしました。

I forgot to turn off the computer.

《remember》

私はそのメールを彼女に送ったことを覚えています。

I remember sending her the email.

そのメールを彼女に**送る**ことを覚えておいて。(そのメールを彼女に**忘れず**に送って。)

Please remember to send her the email.



《try》

私は**試し**にその番号に電話してみたが、誰も出なかった。[実際に電話している。]

I tried calling the number, but nobody answered.

私はあなたに電話しようとしたけど、電池が切れていた。[実際には電話していない。]

I tried to call you, but my battery was dead.

《stop》

彼は**タバコを吸うのを**やめた。彼は禁煙した。

He stopped smoking.

彼は**タバコを吸うために**止まった。

He stopped to smoke.

《regret》

彼らは**ジャンクフードを食べ過ぎたことを後悔**しています。

They regret eating too much junk food.

お知らせするのが**申し訳ありませんが**、あなたの申請は却下されました。

I regret to inform you that your application has been rejected.

[TO DO]

・上記を熟読

## 不定詞(名詞的用法) vs 動名詞

ニュアンスの違い

基本、**日本語訳は同じ**です。ただ、話し手の気持ちが少し異なります。

to 不定詞(名詞的用法) ⇒ 一般的な内容  
動名詞 ⇒ 躍動感(リアリティ)

To talk aloud in the library is prohibited.

図書館内で、大きな声で話すことは禁止されています。(一般的に、そうだよな。と伝えたい)

Talking aloud in the library is prohibited.

図書館内で、大きな声で話すことは禁止されています。(実際に今、横で誰かが話している状況)

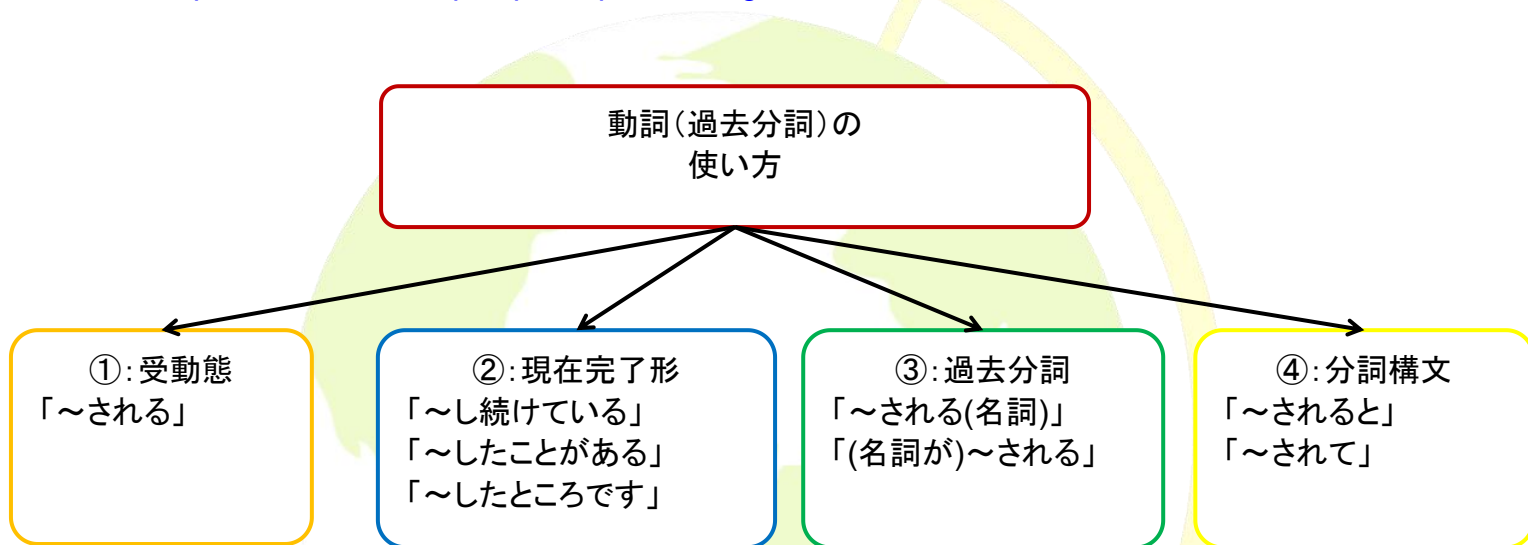
[TO DO]

・上記を熟読

## 過去分詞形の使い方 4つ

過去分詞形の使い方 | 受動態、完了形、過去分詞、分詞構文

→ <https://erinaself.com/pastparticiple-reading/>



### ①: 受動態 (品詞: 動詞)

・意味

受動態現在 [am/are/is + 過去分詞]: 「～される。」

受動態過去 [was/were + 過去分詞]: 「(過去ある地点で)～された。」

受動態未来 [will be + 過去分詞]: 「(未来ある地点で)～されるだろう。」

完了形 + 受動態 [have/has/had + been + 過去分詞]: 「～されている(た)。」

進行形 + 受動態 [be 動詞 + being + 過去分詞]: 「～されているところだ。」

【注意】

「being + 過去分詞»: 「～されること」という動名詞として、使われることがあります。

例:

All the candidates are afraid of not being elected.

全ての候補者は選ばれないことを恐れている。

・見分け方

直前に be 動詞がある

[例文]

She is called Emma. 彼女はエマと呼ばれます。

The building was built last summer. その建物は昨年の夏、建てられました。  
The book will be published next month. その本は来月、出版されます。  
The tomorrow's game may be canceled. 明日の試合は、中止されるかもしれません。  
Many trains have been delayed. 多くの電車が遅れています。  
Your watch is being repaired. あなたの時計は、修理中です。

## ②: 現在完了形 (品詞: 動詞)

### ・意味

「～し続けている」  
「～したことがある」  
「～したところです」

### ・見分け方

直前に have(has/had)がある

### [例文]

I've called her Emma since we met. 出会った時からずっと、私は彼女をエマと、呼んでいます。  
I've been to America once. アメリカに1回、行ったことがあります。  
She hasn't done her homework yet. 彼女はまだ、宿題を終えていません。  
The train had left before I got there. 私がそこに着く前に、(すでに)電車は出発していた。  
We'll have known each other for 10 years next year. 来年で私たちが知り合って10年経ちます。

## ③: 過去分詞 (品詞: 形容詞)

### ・意味

「～される(名詞)」  
「(名詞が)～される」

### ・見分け方

補語の位置にある  
前後どちらかに名詞があり「～された(名詞)」または「(名詞が)～された」と訳せる

### [例文]

I get drunk easily. 私はお酒に酔いやすい。  
She kept the door locked. 彼女はドアのカギをかけておいた。  
I have lots of frozen food in the freezer. 冷凍庫にはたくさんの冷凍食品があります。  
We really like the teacher called Emma. 私たちは、エマと呼ばれるその先生が大好きです。

## ④: 分詞構文 (品詞: 副詞)

### ・意味

「～されると」  
「～されて」

・見分け方

前後の文章が完結している(第 1~5 文型のどれか)

[例文]

Written in Spanish, the theses are difficult to read.

スペイン語で書かれていて、その論文を読むのは難しい。

Seen from a distance, the castle looked like a mountain.

遠くから見ると、その城は山のように見えた。

Founded in 1990, the company has been famous around the world.

1990 年に設立された、その会社は世界中で、有名です。

Known around the world, Bell has won many awards.

ベルは世界中に知られていて、多くの賞を、獲得している。

まとめ表

	品詞	見分け方	意味
受身形	動詞	・直前に be 動詞	・~される ・~された ・~されるだろう ・「~されている(た)。」 ・「~されているところだ。」
	(動)名詞	・ being + 過去分詞(名詞をの位置にある)	・「~されること」
完了形	動詞	・直前に、have/has/had	・~し(続け)ている ・~したことがある ・~したところだ
過去分詞	形容詞	・補語の位置 ・前後に名詞がある	・~された(名詞) ・(名詞が)~された
分詞構文	副詞	・前後の文章が完結	・~されると ・~されて

[TO DO]

・記事を熟読

**動詞 Ving 形の使い方 4 つ**

動詞 ing 形の使い方 | 進行形、動名詞、現在分詞、分詞構文

→ <https://erinaself.com/ving-reading/>

## 動詞に ing がついたときの 使い方

①: 進行形  
「～している(最中  
です)。」

②: 動名詞  
「～すること」

③: 現在分詞  
「～している(名詞)」  
「(名詞が)～している」

④: 分詞構文  
「～して」  
「…しながら～」

### ①: 進行形 (品詞: 動詞)

#### ・意味

現在進行形[am/are/is Ving]「今まさに～している最中です。」

過去進行形[was/were Ving]「(過去ある地点で)～していました。」

未来進行形[will be Ving]「(未来ある地点で)～しているところです。」

#### ・見分け方

直前に be 動詞がある

#### [例文]

She is reading a book. 彼女は、本を読んでいる最中です。

I'm making dinner. 夕食を作っている最中です。

They were going to the party. 彼らはパーティに向かっていました。

It'll be raining when you get home. 家に着くころには、雨が降っているだろう。

### ②: 動名詞 (品詞: 名詞)

#### ・意味

「～すること」

#### ・見分け方

主語、補語の位置にある

動詞か、前置詞の直後(目的語の位置)にある

#### [例文]

Reading books is fun. 本を読むことは、楽しいです。

My hobby is reading books. 私の趣味は、本を読むことです。

I like reading books. 私は本を読むことが、好きです。

Thank you for inviting me. 招待してくれて、ありがとう。

I'm good at cooking. 料理が得意です。

【注意】

My hobby is reading books.

進行形にも、動名詞にもとれる場合、意味で見分けます。

「私の趣味は、(今まさに)本を読んでいる最中です。」だと変なので、これは動名詞だ！と見分けます。

③: 現在分詞 (品詞: 形容詞)

・意味

「～している(名詞)」

「(名詞が)～している」

・見分け方

補語の位置にある

前後どちらかに名詞があり「～している(名詞)」または「(名詞が)～している」と訳せる

[例文]

The phone kept ringing. 電話は鳴り続けた。

We can see the rising sun. 日の出を見ることができるよ。(上っている太陽＝日の出)

I saw her reading a book in the park. 公園で本を読んでいる彼女を見た。

④: 分詞構文 (品詞: 副詞)

・意味

「～して」「～で」

「～しながら」

・見分け方

前後の文章が完結している(第1～5文型のどれか)

[例文]

She just ran out of there crying. 彼女は泣きながら、そこを走ってでた。

I'm not nervous talking to people anymore. 私は人と話すときに、もう緊張しない。

You must be by my side, protecting me. そばにて、私を守って。

Being so exhausted, I went to bed early. とても疲れ切っていたので、私は早めに寝ました。

Never having talked to his boss before, he was nervous. 彼は今までに、一度も上司と話したことがなかったので、緊張した。

【補足】

まぎらわしい！分詞構文と不定詞(副詞的用法)の違いを攻略[基礎英文法]

→ <https://erinaself.com/participial-infinitive/>

まとめ表

	品詞	見分け方	意味
進行形	動詞	・直前に be 動詞	・今まさに~している最中 ・(過去ある時点で)~していた ・(未来ある時点で)~しているだろう
動名詞	名詞	・主語、補語の位置 ・目的語の位置(動詞、前置詞の直後)	・~すること
現在分詞	形容詞	・補語の位置 ・前後に名詞がある	・S=C、O=C ・~している(名詞) ・(名詞が)~している
分詞構文	副詞	・前後の文章が完結	・~して... ・~しながら...

[TO DO]

・上記と記事を熟読

**that の 5 つの使い方**

5 つ使い方を完全攻略【代名詞・形容詞・関係代名詞・接続詞・同格】

→ <https://erinaself.com/5-that/>

まとめ表

	that の前 (単語・文章)	that の後 (単語・文章)	訳し方	備考
代名詞			「あれ」	(代)名詞なので、S、C、Oになる
形容詞		名詞	「あの(名詞)」	
関係代名詞 (主格・目的格)	名詞(先行詞)	不完全文(SかOが欠けた文章)	「~する(名詞)」	
接続詞		完全文	「~ということ」	名詞節を作るので、S、C、Oになる
同格の that	特定の名詞	完全文	「~という(名詞)」	

[TO DO]

・記事を熟読

## 接続詞

接続詞？前置詞？まぎらわしい単語 21 個を一挙整理！

→ <https://erinaself.com/conjunction-preposition-words/>

前置詞とは？ | 名詞の前に置いて、形容詞または副詞の働きをする  
 接続詞とは？ | 単語や文章を結びつける

接続詞は 2 つ種類があります。

① 等位接続詞	単語や文章、を対等に結ぶ	and, or, but, so など
② 従属接続詞	名詞節や副詞節をつくる	when, if, that, because など

従属接続詞 一覧

	前置詞	接続詞	備考
because	×	なぜなら～	
when	×	～の時	
if	×	もし～ならば	名詞節としても使える 「～かどうか」
unless	～以外に ～を除いては	～しない限り	
whether	×	A であろうとなかろうと (whether A or not)	名詞節としても使える 「～かどうか」
while	×	～の間 ～だが一方...	
during	～の間	×	



whereas	×	～だが一方...	
as	～として ～のとき	～するように ～と同じくらい ～するとき ～なので	
after	～の後に	～した後に	
before	～の前に	～する前に	
since	それ以来	～して以来 ～なので	
until / till	～まで	～するまで(ずっと)	
although / though	×	～だけれども ～にもかかわらず	though (副詞)だけれども
despite	～にもかかわらず	×	= in spite of
even if / even though	×	たとえ～でも	
by	～までに	×	
by the time	×	～までに	
as long as	×	～する限り ～しさえすれば	
as far as	×	～する限り	
once	×	一度～すると	(副詞) 一度、かつて

[TO DO]

- ・記事を熟読
- ・接続詞、前置詞の使い方の違いを意識して例文を作成

## 比較表現 (as~as、比較級、最上級)

比較表現とは、形容詞や副詞を使って、他と比較することです。

John is tall.

ジョンは背が高いです。

John is as tall as Bob.

ジョンはボブと同じくらい背が高い。

John is taller than his little brother.

ジョンは弟より背が高い。

John is the tallest in his family.

ジョンは家族の中で一番背が高い。

### as ~ as 表現

【超便利】比較表現「as~as」の使い方 | 例文で覚える！

→ <https://erinaself.com/as-as/>

同等レベルであることを表現する方法 (as ~ as)

「as ~ as」の基本は、「イコール(=)」です。

S is as (形容詞) as O.

=S は O と同じくらい(形容詞)です。

[TO DO]

- ・記事を熟読

### 比較級・最上級 表現

比較級・最上級の規則変化(表)

短い単語は「-er」「-est」をつけます。長い単語は形容詞または副詞の前に「more」「most」をつけます。

	原級	比較級	最上級	
1 音節	tall	taller	tallest	基本の形
	large	larger	largest	語尾が-e で終わる
	big	bigger	biggest	「1 母音 + 1 子音」の語尾のとき、子音を重ねる
2 音節	happy	happier	happiest	語尾が-y で終わる
	pretty	prettier	prettiest	
3 音節以上	beautiful	more beautiful	most beautiful	
	intelligent	more intelligent	most intelligent	

形容詞に-ly をつけた副詞は「more」「most」をつける

原級	比較級	最上級
slowly	more slowly	most slowly
carefully	more carefully	most carefully

ただし、early, friendly, lovely は例外

原級	比較級	最上級
early	earlier	earliest
friendly	friendlier	friendliest
lovely	lovelier	loveliest

比較級・最上級の不規則変化(表)

品詞	原級	意味	比較級	最上級
形	good	よい	better	best
形・副	well	健康で・よく・上手に		
形	bad	悪い	worse	worst
副	badly	悪く		
形	many	[数が]多い・たくさん	more	most
形・副	much	[量が]多い・たくさん		
形・副	little	[量が]少ない・少し	less	least
形	far	遠くの	farther	farthest
副		遠くへ	further	furthest
形	old	古い・歳をとった	older	oldest
			elder	eldest

[TO DO]

・上記を熟読 & 表の暗記

## 仮定法

例文で覚える！助動詞 “would” の使い方 | 昔の習慣・妄想・仮定法

→ <https://erinaself.com/auxiliary-verb-would/>

例文で覚える！助動詞 “could” の使い方 | 能力・可能性・仮定法

→ <https://erinaself.com/auxiliary-verb-could/>

例文で覚える！助動詞 “may・might” の使い方 | 許可、予想、祈願

→ <https://erinaself.com/auxiliary-verb-may-might/>

仮定法は主に、

・仮定法過去(今の妄想、叶わない願望)

・仮定法過去完了(過去の妄想、後悔)

の2種類があります。

仮定法過去(現在[今]の妄想)の型！

If S V(過去形)~, S would V(原形)~.

=もしも(今)~なら、…なのに。

助動詞は would, could, might も OK !

It would be nice if we just took a few moments.

もう少し時間をかけたら、いいのに…。

仮定法過去完了(過去の妄想、後悔)の型！

If S had p.p.~, S would have p.p.~.

=もしも(過去)~だったら、…だったのに。

助動詞は would, could, might も OK !

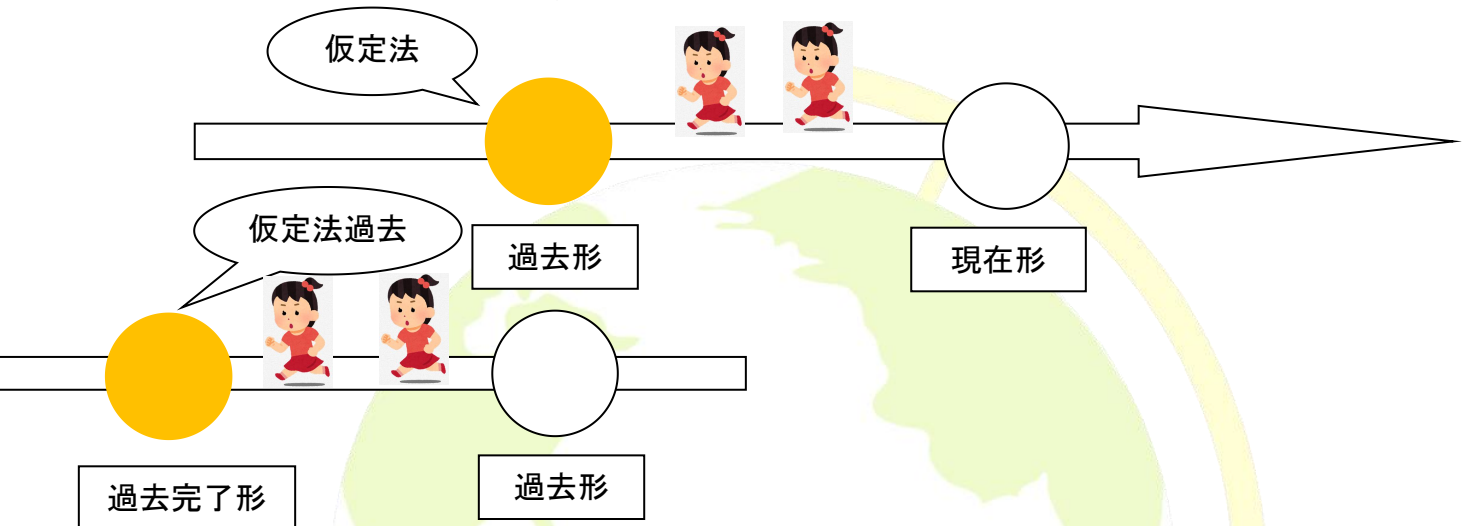
If I had studied harder, I would have got a higher test score.

もし私が(過去)、もっと勉強していたら、高得点をとれただろうに…。

仮定法は「時」をずらす！ ⇒ 「現実離れ」していることを表現する

「もし鳥だったら…」  
「もし宝くじが当たったら…」  
「もし私が君だったら…」

現実から離れている事柄



#### 【仮定法過去の例文】

If I had your number, I could call you.

(今)もし私が、あなたの電話番号持っていたら、電話できるのにな。

If I were you, I'd wear them every day.

(今)僕があなただったら、毎日それを履くのにな。

If I weren't here, I'd just be at the gym working out.

(今)ここになかったら、ジムで鍛えてるところのに。

You would be a lot happier if you weren't so obsessed with everything being perfect.

直訳: あなたはもっと、幸せになれるのに、もしあなたが、完璧になることに取りつかれていなかったら。 ⇒ 完璧を求めずに、もっと楽に生きたら。

#### 【仮定法過去完了の例文】

We would've met her if we were at the right airport.

(過去)もし空港にいたら、彼女に会うことができていたのに。

If you had just kept this to yourself, this wouldn't have happened.

(過去)君がこのことを秘密にしてたら、何も起こらなかつたのに。

[TO DO]

- ・上記と記事を熟読
- ・仮定法を使って、例文作成

## 仮定法を含む慣用表現

I wish S V(過去形).

= (今) ~ならいいのに。[現在とは違う願望] 叶わない願望

【例文】

I wish I had cats.

猫が飼えたらいいのに…。

I wish I went abroad.

海外に行けたらいいのに。

I wish I went to Tokyo.

東京に行けたらいいのに。

I wish S had p.p.

= (過去) ~だったらよかったのに。[後悔]

【例文】

I wish I hadn't eaten so much chocolate.

あんなにたくさんのチョコを食べなければよかった…。(実際には食べて、後悔。)

If only S V(過去形)

= SV さえ あつたらなあ！ ([叶わなくて] 残念な気持ち)

【例文】

If only I would get here sooner.

もっと早くここに到着していたらなあ！

~ as if S V(過去形).

=まるで、SV であるかのように、~。[現実とは違う、例え]

【例文】

They treat me as if I were one of my family.

彼らは、まるで私を家族一員のように扱ってくれます。

If it were not for~, SV(過去形)~.

=もし(今)~がなければ、SV だろうな。

※Without~ / But for~ / If not for ~ / Were it not for~ に言い換えることができます。

【例文】

ディズニーがなかったら、たくさんのおとぎ話は消えているかもしれない。

If it were not for Disney, many of these fairy tales might disappear.

Without Disney, many of these fairy tales might disappear.

But for Disney, many of these fairy tales might disappear.

If not for Disney, many of these fairy tales might disappear.

Were it not for Disney, many of these fairy tales might disappear.

If it had not been for~, S would have p.p.~.

=もし(過去に)~がなかったら、SV だっただろうな。

助動詞は would, could, might も OK !

【例文】

If it had not been for your help, I would have never finished the project on time.

あなたの助けがなかったら、私はプロジェクトを時間通りに終えることはできなかったでしょう。

If it had not been for his advice, I might have made a costly mistake.

彼の助言がなかったら、私は高価なミスを犯していたかもしれません。

If it had not been for her quick thinking, we could have ended up in a dangerous situation.

彼女の素早い判断がなかったら、私たちは危険な状況に陥る可能性がありました。

未来に対する仮定・願望 : 助動詞 should を使います。

If it should rain, the festival would be canceled.

もし万が一、雨が降ったら、祭りは中止になるだろう。

If I should not have a plan the day, I could go to watch the movie.

もし万が一、その日の予定がなかったら、映画を観に行けるのにな。

[TO DO]

- ・上記を熟読
- ・構文を使って、例文作成

## 前置詞 30 個

### 前置詞 30 選 一覧

① at	⑪ up	⑳ across
② in	⑫ down	㉑ against
③ on	⑬ over	㉒ along
④ off	⑭ under	㉓ above
⑤ for	⑮ about	㉔ below
⑥ on	⑯ around	㉕ behind
⑦ by	⑰ into	㉖ after
⑧ from	⑱ during	㉗ before
⑨ with	⑲ among	㉘ within
⑩ without	⑳ through	㉙ between

①～⑩前置詞の解説: <https://erinaself.com/preposition1-10/>

⑪～⑳前置詞の解説: <https://erinaself.com/preposition2-10/>

㉑～㉙前置詞の解説: <https://erinaself.com/preposition3-10/>



### 【補足】

「V O[人] to V[原形]～」の形をとる動詞 41 個 | 英文は形で覚える

→ <https://erinaself.com/vsbto-place/>

### [TO DO]

- ・記事を熟読
- ・前置詞を使って例文作成

## 基礎動詞の学習

get	<a href="https://erinaself.com/get-sentences/">https://erinaself.com/get-sentences/</a>
make	<a href="https://erinaself.com/make-sentences/">https://erinaself.com/make-sentences/</a>
leave	<a href="https://erinaself.com/leave-sentences/">https://erinaself.com/leave-sentences/</a>
ask	<a href="https://erinaself.com/ask-sentences/">https://erinaself.com/ask-sentences/</a>
give	<a href="https://erinaself.com/give-sentences/">https://erinaself.com/give-sentences/</a>
feel	<a href="https://erinaself.com/feel-sentences/">https://erinaself.com/feel-sentences/</a>
keep	<a href="https://erinaself.com/keep-sentences/">https://erinaself.com/keep-sentences/</a>
find	<a href="https://erinaself.com/find-sentences/">https://erinaself.com/find-sentences/</a>
let	<a href="https://erinaself.com/let-sentences/">https://erinaself.com/let-sentences/</a>
help	<a href="https://erinaself.com/help-sentences/">https://erinaself.com/help-sentences/</a>
put	<a href="https://erinaself.com/put-sentences/">https://erinaself.com/put-sentences/</a>
take	<a href="https://erinaself.com/take-sentences/">https://erinaself.com/take-sentences/</a>
bring	<a href="https://erinaself.com/bring-sentences/">https://erinaself.com/bring-sentences/</a>
go	<a href="https://erinaself.com/go-sentences/">https://erinaself.com/go-sentences/</a>
come	<a href="https://erinaself.com/come-sentences/">https://erinaself.com/come-sentences/</a>
have	<a href="https://erinaself.com/have-sentences/">https://erinaself.com/have-sentences/</a>
turn	<a href="https://erinaself.com/turn-sentences/">https://erinaself.com/turn-sentences/</a>
work	<a href="https://erinaself.com/work-sentences/">https://erinaself.com/work-sentences/</a>
tell	<a href="https://erinaself.com/tell-sentences/">https://erinaself.com/tell-sentences/</a>
run	<a href="https://erinaself.com/run-sentences/">https://erinaself.com/run-sentences/</a>

### [TO DO]

- ・記事を熟読
- ・それぞれの動詞を文型を意識して例文作成

## リーディングのコツ

英文の間違った読み方と、早く正確に読むコツ

→ <https://erinaself.com/how-to-read/>

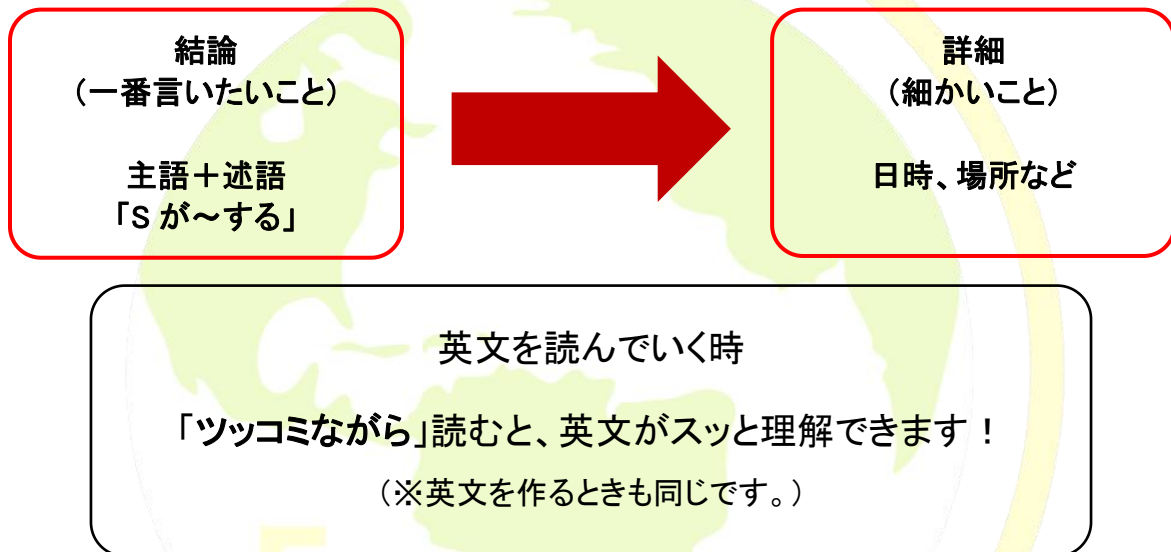
## 間違った読み方

・返り読み

## リーディングのコツ

0. (単語がわかっている)
1. 主語と述語(動詞)を見つける
2. 左から右に読む(返り読みをしない)  
返り読みをしないためには？ → ツツコミながら読む

**【大切】** 英語は一番言いたいことを最初に言って、そのあとに細かいこと(詳細)を言います。



## 【例文】

I asked **my brother** to **buy an interesting book** / **when he went out**.

( )内は私の心の声です。

(結論！) 私は／頼んだ

(誰に?) 私の弟に

(何を?) 買う／一冊の／おもしろい／本

(いつ?) 時／彼は／外に出かけた

訳:「私は、(私の)弟が外出したときに、一冊のおもしろい本を買ってくるように、頼んだ。」

[TO DO]

- ・記事を熟読
- ・実際に英語の文章を読んでみる(なるべく返り読みをしない)

## ライティングのコツ

【英語学習者必見】簡単！英作文を作るための3つのコツ | 初心者専用

→ <https://erinaself.com/eisakubun-easy/>

### ライティングのコツ

- ① 1文は短く、簡潔に
- ② 主語と述語を明確にする
- ③ 簡単な日本語にする

#### ①: 1文は短く、簡潔に

1文、3~5語でもいいです！それを何個も作ることが大切です。

短い文章をたくさん作る  
↓(慣れてきたら...)  
文章を長くしていく

I went to the zoo yesterday.  
I saw many animals there.  
I was happy to see them.

私は昨日動物園に行った。  
私はそこでたくさんの動物を見たよ。  
動物たちを見れて嬉しかった。

#### ②: 主語と述語を明確にする

英語においては、しっかり主張する必要があります。  
「誰(何)が」「何をするのか」

もし、主語がなんだろう？とわからなくなった時は  
「何をする」のは「誰(何)？」と、聞いてみてください。

### ③: 簡単な日本語にする

- 1.自分の考えている日本語の文を用意する。
- 2.わかりやすい、簡単な日本語にする(小学校低学年生に話すような)。
- 3.英語にする。

#### (例 1)

私は昨日、火事から避難しました。  
I evacuated from a fire yesterday.

私は火事から逃げた。  
I run away from a fire.  
私は火事だったので、すぐに建物外に出た。  
I went out of the building quickly because of a fire.

#### (例 2)

彼は空気が読めない。  
He can't read between the lines.

彼はその状況に気を払えなかった  
He didn't pay attention to the situation.  
彼は状況を全くわかっていなかった。  
He didn't know the situation at all.

#### [TO DO]

- ・記事を熟読
- ・英作文を作ってみる(講師に提出)

### 日記を書いてみる

#### 【日記を書く手順】

- ① 日本語で書く
- ② 英語で書く  
※英語にできない場合、「日本語を易しくできないか？」を考える
- ③ どうしても英語に出来ないときは、ネットや翻訳アプリで調べる
- ④ 講師に提出(任意)  
※必ず書いた文章を音読してください。

毎日同じことの繰り返しで、変化のない日常だから、特に書くことがない  
特に、特別なことないからな…。一言、二言書いたらもう何も書けない。という方！

下記の質問を参考に、日記を書いてみて下さい。

- ・今日嬉しかった、楽しかったことはありますか？それは何ですか？
- ・今日悲しかった、悔しかったことはありますか？それは何ですか？
- ・今日の反省点がありますか？それは何ですか？
- ・今日の自分を褒めるとしたら、それは何ですか？
- ・今日見たもの(テレビ、YouTube、ネットニュースなど)の感想は何ですか？
- ・今日、家族、友人、同僚、上司とどんな会話をしましたか？  
(会話の内容をそのまま英文にしてもいいです^^)
- ・明日の予定は何ですか？また、したいことは何ですか？

継続が必ず力になります。

[TO DO]

- ・日記を書いている(継続)
- ・日記を声に出して読む
- ・日記を講師に提出する

### Oxford English Level Test を受けてみる (再)

→ <https://www.oxfordonlineenglish.com/english-level-test/grammar>

最初のスコアと比較してみましょう。

間違えたところもあるかもしれませんが、なぜ間違えたのか、理由がもう明確になっており、自分で修正ができるようになっているはずです！

[To Do]

- ・テストを受講する、講師に提出(報告)
- ・前回のものと比較する

## 4. 単語

### 「単語力＝英語力」

英語が話せない…という人の多くは、知っている単語、使える単語の量が少ないからです。退屈で終わりのない項目だからこそ、コツをしっかりと押さえて、単語力を養っていきましょう。

### 単語帳の選び方

1. 知らない単語と知っている単語の割合(7:3)
2. 例文が必ず載っている
3. 読みやすい！続けられそう！と思う(主観でOK)

どうしても自分で選べない！という時は、ご相談ください。  
推奨教材をご提案します。

#### [TO DO]

- ・自分に合う単語帳の購入

### 必須単語 5000 語を身につける方法とコツ

#### 【初級者・中級者：共通】

世界一わかりやすい英単語の授業を読む(400語)：最低5周

#### 【初級者】

- ・ゼロからスタート英単語 BASIC1400
- ・データベース 3000
- ・中学英単語 1850(高校入試ランク順1)
- ・英検を受ける人 ⇒ パス単かランク順の単語帳(5級、4級、3級、準2級)のどれか一冊を7周以上

#### 【中級者】

- ・Distinction2000
- ・英検受ける人 ⇒ パス単かランク順の単語帳(2級、準1級、1級)のどれか一冊を10周以上

## 選ぶ際のポイント

- 知らない単語と知っている単語の割合(7:3)
- 例文が必ず載っている
- 読みやすい！続けられそう！と思う(主観でOK)

## ～単語帳を使った単語の覚え方～

### 最初に大切な考え方

単語学習に最も必要なのは「量」です。

覚えられません...という方のほとんどは、単語帳を1回、2回しかやったことない方が多いです。それで覚えられたら、みんな苦労してないです！

1回しか会ったことない人を100人、200人と覚えることができますか？無理ですよ。まず、その単語に会う回数を増やしていきましょう。

### 【具体的な学習方法】

#### [1周目]

単語を見て、日本語の意味を確認

(品詞の確認、音読を必ずする)

1単語、長くても1分以内、それ以上時間をかけない

#### [2周目以降]

単語を見て、日本語の意味が瞬時に出るか確認

(出ない場合は、チェックをする)

1単語、長くても30秒以内、それ以上時間をかけない

単語学習は数分でもいいので、毎日続けましょう。期間が空くと、せっかく覚えたものも忘れてしまいます。

### [TO DO]

・覚える、そして使えるまで毎日継続

## 単語学習時の重要な学習方法（受動語彙と能動語彙）

受動語彙とは？ | 読んで、聞いてわかる単語(例:読めるが、書けない漢字)

能動語彙とは？ | 話す、書くときに使える単語(例:読めて、書ける漢字)

### 1: 受動語彙を増やす

単語を見て、聞いて意味が瞬時(1秒以内)にわかる

正しい発音で発音できる

受動語彙が増えてきたら、この単語をどうやって使おう？に意識を変えてください。  
そこから能動語彙にする学習を行います。

## 2: 能動語彙を増やす

その単語を使って、短くてもいいので英文を作る(単語帳の例文を参考にしてOK)

どうしても覚えられない単語へのアプローチ方法

- 画像を検索して、イメージで覚える
- 関連(類義)単語を探して、一緒に覚える
- 接尾語、接頭語で覚える
- 語源で覚える





## 5. コミュニケーション

英語が理解できる、使えるようになってきたら、どんどんアウトプットをしましょう。アウトプットの量が、上達度に比例していきます。

実際に、外国人を前にすると「緊張する…」「頭が真っ白になってしまった…」と言う人が多いです。必ず、準備をして会話にのぞみましょう。

「ただ英語が話せる人」ではなく、「コミュニケーション上手な人」を目指していきましょう！  
コミュニケーション力をあげるための、参考資料をまとめております。

### ネイティブとの会話で沈黙にならない方法

英会話ですぐに使える！質問の達人になれる 25 の質問

→ <https://erinaself.com/eigo-phrase-25q/>

### 会話で相手に好印象をもってもらう方法

英会話で役立つ相づち表現 15 選

→ <https://erinaself.com/eigo-phrase-response/>

### すぐ使える英会話フレーズ

すぐ使える英会話フレーズ【提案表現 10 選】(TOEIC 頻出表現あり)

→ <https://erinaself.com/eigo-phrase-suggest/>

### 人見知りでも、外国人の友達をつくる方法

大切なこと ⇒ 相手に興味を持って話を聞く

超絶！人見知りだった私が、人見知りを克服した 5 つの方法

→ <https://erinaself.com/shy-overcome/>

## 独り言英会話 具体的な練習方法

### 【具体的な練習方法】

- ・テーマを決める  
(自己紹介、今日のスケジュール、明日のスケジュール、仕事や学校での出来事)
- ・短くてもいいので、文章を作る(短いものをいくつも作って、話す)
- ・短い文章を接続詞などを使って、つなげてみる
- ・日本語で普段、考えていることを英語にする(習慣になるまで行う)

うまく文章を作れない時

- ▶ 例文集を使う  
例文集にある例文をピックアップして、それを置き換える。

## オンライン英会話 具体的な練習方法

1. 話す内容を、事前に決めておく(シミュレーションをする)
2. レッスン内容を録音して復習する
3. 何度も同じテキストを使ってレッスンする

### 【参考】

オンライン英会話を使って、英語力を飛躍させる3つの方法

→ <https://erinaself.com/online-eng/>

大人向け、ネイティブ講師在籍のおすすめオンライン英会話8選

→ <https://erinaself.com/online-english-native-teacher/>

## 【補足・参考資料】

### 動詞活用表

動詞の活用表は、小学生が九九を覚えるように、何度もリズムよく声に出して覚えましょう。不規則変化する動詞は、そこまで多くはありません。短期間で一気に覚えてしまえば、その後やる必要はなくなります。

規則変化: 語尾に「-ed」をつける

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
visit	visited	visiting	visited	～を訪問する
need	needed	needing	needed	～を必要とする
talk	talked	talking	talked	～と話す
watch	watched	watching	watched	～を観る
look	looked	looking	looked	～を見る
want	wanted	wanting	wanted	～が欲しい
cook	cooked	cooking	cooked	～を料理する
ask	asked	asking	asked	～を尋ねる
listen	listened	listening	listened	～を聴く
stay	stayed	staying	stayed	滞在する
brush	brushed	brushing	brushing	～を磨く
call	called	calling	called	～を呼ぶ
finish	finished	finishing	finished	～を終える
travel	traveled	traveling	traveled	旅行する
answer	answered	answering	answered	～を答える
join	joined	joining	joined	参加する
paint	painted	painting	painted	～を塗る
learn	learned	learning	learned	～を学ぶ
help	helped	helped	helping	～を助ける
smell	smelled	smelling	smelled	～を匂う

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
collect	collected	collecting	collected	~を集める
start	started	starting	started	~を始める
enjoy	enjoyed	enjoying	enjoyed	~を楽しむ
show	showed	showing	showed	~を見せる
push	pushed	pushing	pushed	~を押す
wait	waited	waiting	waited	待つ
work	worked	working	worked	働く

規則変化: 語尾に「-d」をつける

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
arrive	arrived	arriving	arrived	到着する
like	liked	liking	liked	~が好き
practice	practiced	practicing	practiced	~を練習する
move	moved	moving	moved	~を動かす
hope	hoped	hoping	hoped	~を望む
change	changed	changing	changed	~を変える

語尾の「y」をとって「id」をつける

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
say	said	saying	said	~と言う
pay	paid	paying	paid	払う
try	tried	trying	tried	~を試す
cry	cried	crying	cried	泣く

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
carry	carried	carrying	carried	～を運ぶ

規則なし(何度も音読して覚える)

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
be(is/am/are)	was/were	being	been	～である・いる
do	did	doing	done	する
eat	ate	eating	eaten	たべる
get	got	getting	got gotten	手に入れる
give	gave	giving	given	与える
forget	forgot	forgetting	forgot forgotten	忘れる
go	went	going	gone	行く
come	came	coming	come	来る
become	became	becoming	become	～になる
have	had	having	had	持っている
find	found	finding	found	見つける
make	made	making	made	作る
see	saw	seeing	seen	見る・会う
hear	heard	hearing	heard	聞く
meet	met	meeting	met	会う
lose	lost	losing	lost	負ける・なくす

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
read	read	reading	read	読む
win	won	winning	won	勝つ

形が同じもの

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
cut	cut	cutting	cut	切る
shut	shut	shutting	shut	閉める
hit	hit	hitting	hit	たたく
put	put	putting	put	置く

母音が「a」(過去形)、「u」(過去分詞)変わる

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
sing	sang	singing	sung	歌う
drink	drank	drinking	drunk	飲む
sit	sat	sitting	sat	座る
swim	swam	swimming	swum	泳ぐ
run	ran	running	run	走る
begin	began	beginning	begun	始める・始まる

短母音「oo」になる

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
take	took	taking	taken	取る・持っていく
stand	stood	standing	stood	立つ
understand	understood	understanding	understood	理解する

母音が「o」になる

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
drive	drove	driving	driven	運転する
write	wrote	writing	written	書く
ride	rode	riding	ridden	乗る
break	broke	breaking	broken	壊す
speak	spoke	speaking	spoken	話す

「-ow, -aw」が「-ew」に変わる

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
know	knew	knowing	known	知っている
draw	drew	drawing	drawn	描く
throw	threw	throwing	thrown	なげる
grow	grew	growing	grown	育つ・育てる
fly	flew	flying	flown	飛ぶ

単語の最後「d」が「t」に変わる

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
send	sent	sending	sent	送る
spend	spent	spending	spent	過ごす・費やす
build	built	building	built	建てる

「-ought」または「-aught」に変わる

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
buy	bought	buying	bought	買う

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
bring	brought	bringing	brought	持ってくる
think	thought	thinking	thought	思う・考える
catch	caught	catching	caught	つかまえる
teach	taught	teaching	taught	教える

単語が短くなって、「t」がつく

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
keep	kept	keeping	kept	保つ
sleep	slept	sleeping	slept	寝る
feel	felt	feeling	felt	感じる・気がする
leave	left	leaving	left	去る・出発する

「-ell」が「-old」に変わる

原形	過去形	進行形	過去分詞	意味
tell	told	telling	told	(人に)言う
sell	sold	selling	sold	売る

和製英語～そのままでは通じないもの～

ノートパソコン	laptop
キーホルダー	key ring
クレーム	complaint
サラリーマン	office worker
トイレ	restroom / bathroom
ドライヤー	hair dryer
シール	sticker
シュークリーム	cream puff



フロント	reception
ガソリンスタンド	gas station
電子レンジ	microwave
アルバイト	part time job
マンション	apartment
リサイクルショップ	secondhand store
クーラー	air conditioner
ホチキス	stapler
ビニール袋	plastic bag
サービスエリア	rest stop
フライドポテト	french fries
コンセント	アメリカ: outlet イギリス: socket
チャック	zipper
オードブル	appetizer
グリーン車	first-class car
コンプレックス	inferiority complex
ホットケーキ	pancake
カンニング	cheating
スマート	slim
ボディーチェック	security check
ポスト	mail box
カステラ	sponge cake
ズボン	pants jeans
ランドセル	school knapsack
リフォーム	alteration
ブラインド	shade
サービス	free
ブックカバー	book jacket
シンボルマーク	emblem
シャープペンシル	mechanical pencil
ミス	mistake
モニター	test user
バイク	motorcycle motorbike
ビーチサンダル	flip flops
バックミラー	rear view mirror
キャッチコピー	catchphrase slogan
ファックス	facsimile
デマ	false rumor
デパート	department store

クローク	cloakroom
アクセル	accelerator
ファイト！（がんばって！）	Go for it! Good luck!

### 英語学習にドラマ視聴がおすすめな理由と活用法

→ <https://erinaself.com/effective-drama-movie/>

### 「英語力が伸びない…」と落ち込んだときにする5つの行動

→ <https://erinaself.com/develop-skills-action/>

### 現状の英語力を簡単に確認できる方法7選

→ <https://erinaself.com/english-abilities/>

### 初心者がTOEIC600点超えるためにやる3つのこと

→ <https://erinaself.com/toEIC-600/>

### 英検3級ライティング対策 | 攻略とコツ

→ <https://erinaself.com/eiken3-writing/>

### 英検準2級ライティング対策 | 攻略とコツ

→ <https://erinaself.com/eikenpre2-writing/>

### 英検2級ライティング対策 | 攻略とコツ

→ <https://erinaself.com/eiken2-writing/>

### 英語独学歴8年が伝えたい！英語学習時に使える神アプリ3選【無料】

→ <https://erinaself.com/free-app3/>

## 英語学習を円滑に進める便利サイト 10 選

→ <https://erinaself.com/tool-sites/>

### 10 個のサイトと概要

サイト名	概要
DeepL	高精度の翻訳ツールです。Google 翻訳よりも精度が高く、日英だけでなく、29 言語の翻訳が可能です。
QuillBot Paraphraser	入力した文をパラフレーズ(意味は同じで、他の単語で表現すること)してくれます。たくさんの言い換えが出てくるので、表現の幅が広がります。
QuillBot Grammar Checker	入力した文章の文法をチェックして、間違っていたら自動で訂正してくれます。
Otter	英文の音声を自動で、文字起こししてくれます。(無料版:30 日間で 600 分の録音が可能)
Cambridge Dictionary	辞書。アメリカ発音とイギリス発音の両方が記載されています。日本語の意味だけでなく、英語での解説つきで、例文も豊富です。
Phrasal Verb Dictionary	句動詞の検索ができます。意味は全て英語で説明してあります。
collocation dictionary	単語と単語のつながりで、自然な組み合わせを教えてください。
toPhonetics	文章を入力することで、ネイティブに近い発音を教えてください。(アメリカ・イギリス両方)
YouGlish	単語や語句の例文を調べたいとき、Youtube 動画の中から実際に使われているシーンを検索してくれます。
Language Reactor	Netflix を見るときに、日本語と英語字幕を同時に見ることができます。Netflix で映画学習をしている人は絶対に！活用すべきです。

### さいごに

この Textbook が皆様のお役に立ったら、とても嬉しいです。具体的な使い方は、

<https://erinaself.com/curriculum/>に記載しておりますので、ご参考ください。

細心の注意を払って作成しておりますが、もし誤字脱字、意味がわからない点などございましたら、遠慮なく下記までお問い合わせ下さいませ。

【問い合わせ先】

メール : [airoot@erinaself.com](mailto:airoot@erinaself.com)

LINE : <https://lin.ee/7aCu95r> もしくは「@gzh6581k」で検索

ありがとうございます。

【参考文献】

- ① : 世界一わかりやすい英文法の授業
- ② : 世界一わかりやすい中学英語の授業
- ③ : すべての日本人に贈る「話すため」の英文法
- ④ : アトラス総合英語 ATLAS English Grammar and Expressions

Erina English オンラインレッスンのご案内

→ <https://erinaself.com/erina-english-lesson/>

Erina English では、受講生が自ら、英文を作り、間違いがあれば修正でき、伝えるための発音力を身につけてもらうことを重要視しております。